

20年のあゆみ

Tochigi
International
Association



20th ANNIVERSARY
1988 — 2008



財団法人栃木県国際交流協会



20th Anniversary 



ごあいさつ

財団法人栃木県国際交流協会理事長

橋 本 俊 一

財団法人栃木県国際交流協会は、昭和63年10月に行政と民間が一体となって栃木県における国際交流の中核的役割を担う組織として設立されました。皆様のお陰をもちまして、ここに設立20周年を迎えることができました。

これもひとえに、県、市町をはじめ出捐いただいている企業団体および民間交流団体等の賛助会員、更にはボランティアの方々など、多くの皆様から多大なご支援、ご協力を頂いているからこそと、心から深く感謝申し上げます。

この20年の間、栃木県においても国際化の進展は著しいものがあり、中国・浙江省、フランス・ヴォークリューズ県、アメリカ・インディアナ州との友好交流は県民に国際交流への理解を深める契機となっています。また、近年、外国人登録者数が毎年増加しており、平成元年当時は7千人程度でありましたが、20年末では110カ国から3万5千人に達し、その滞在期間も長期化しているなど県内各地で多くの外国人が生活し様々な活動をしています。

こうした状況のなか、私ども協会は県の「とちぎ国際化推進プラン」に掲げられた基本目標「県民とともに進める『とちぎ』の国際化」の実現に向けて様々な事業に取り組んでいます。これまで、県民の皆様が文化・スポーツ・学術等多様な分野で外国人と交流できる機会を促進するなど、その環境づくりに取り組むとともに、県内在住外国人には多言語による各種相談の実施や日本語を学習する機会の促進、更には生活情報等の提供促進に取り組んでいます。最近では、県民と外国人がお互いに文化の違いを理解し合い認め合いながら、共に安心して暮らせる多文化共生地域づくりが求められていることから、こうした考えを啓発する事業を開始したところです。

このように当協会が果たすべき役割は様々な国際化の潮流とともに多様化し、これからも益々大きくなると考えられることから、県をはじめ関係する機関団体との連携を図り、なお一層効率的な事業の展開に努め、地域に根ざした国際交流の推進に取り組んで参りたいと思います。

ここに、当協会が皆様のご支援とともに歩んで参りました20年間の活動の足跡を振り返るとともに、今後の発展を祈念し「20年のあゆみ」を取りまとめました。どうかご一読の上、なお一層のご指導をいただければ幸いに存じます。

CONTENTS

設立20周年を迎えて

会長 福田 富一	4
----------	---

設立20周年に寄せて

顧問 渡辺 文雄	5
----------	---

巻頭企画

写真で見る20年のあゆみ	8
メッセージ～設立20周年に寄せて～	12
メッセージ～国際交流団体の皆さんから～	14

協会の概要

概要	20
沿革	21

事業の概要（昭和63年度～平成19年度）

情報収集提供事業	24
広報出版事業	27
交流交歓事業	32
研修事業	37
留学生支援事業	54
地域国際化連携事業	55
相談事業	57
協力者バンク運営事業	61
海外移住者援護事業	62
国際協力推進事業	65
友好交流事業	72
その他の事業	79



設立20周年を迎えて

財団法人栃木県国際交流協会会長

(栃木県知事) 福田 富一

このたび、地域の国際交流活動を支援する中核的な組織として設立された財団法人栃木県国際交流協会が設立20周年を迎えました。この間、多方面から御支援、御協力をいただいた多くの関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

顧みますと、この20年の間に国内外の情勢は大きく変化し、経済活動のグローバル化や身近に住む外国人の増加など、地域の国際化も着実に進展してきました。

当協会の活動も、当初の友好交流から国際協力、国際貢献へと軸足を移しながら、近年は、日本人と外国人が共に安心して暮らすことのできる多文化共生に視点を置いた活動が活発になってきています。

また県内でも、市町の国際交流協会をはじめとして草の根の国際交流活動を実践する団体や個人が増加し、その活動範囲も拡充してきており、大変喜ばしく心強く感じています。

県におきましても、国際化時代にふさわしい魅力ある地域づくりを進めるため、「とちぎ国際化推進プラン」に基づき「県民主体による国際交流・国際協力の促進」などに努めていますが、県内の外国人登録者数が35,159人と当協会設立当時の6倍を超え、出身国もブラジルや中国など110カ国を数える現在、多文化共生地域づくりの必要性がますます高まってきています。

昨年はブラジル日本移民100周年、在伯栃木県人会創立50周年で、私もサンパウロ市での記念式典に参加し、県人会の皆様と交流を深めてきましたが、故郷「とちぎ」を思う会員の皆様の情熱に深い感銘を受けました。

同時に、言葉や文化の異なる社会で懸命に汗を流し今日の地位を築いた日本人移住者の努力と、彼らを温かく受け入れたブラジル社会の懐の大きさを実感したところであり、多文化共生地域づくりをはじめとする今後の国際化の推進に貴重な示唆を得たものであります。

「とちぎの国際化」を推進するためには、民間団体や経済界、行政等の各主体が連携を深め協働することが必要であり、とりわけ民間レベルの国際交流の中核的組織である当協会の役割はますます大きくなるものと確信しています。

財団法人栃木県国際交流協会は、今後も引き続き地域レベル、民間レベルで「とちぎの国際化」の推進に努めて参りますので、県民の皆様には、一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



設立20周年に寄せて

財団法人栃木県国際交流協会顧問

(元栃木県知事) 渡辺文雄

栃木県における地域レベルの国際交流を推進するために、県内各界各層の皆様の御協力を得て設立された財団法人栃木県国際交流協会が、設立20周年を迎えました。

まことに慶賀にたえません。これまで協会の発展に御努力頂いてきた役職員の方々はもとより、今日まで御支援、御協力を賜って参りました多くの関係者の皆様に、協会設立に携わってきた者の一人として、心から感謝申し上げます。

この20年間には、東西冷戦構造の終焉や世界経済のボーダレス化の進展、或いは100年に一度ともいわれる昨今における国際的な金融、経済危機の到来等国内外の情勢は大きく変化をし、またこれからもダイナミックな変化を経験すると思われまます。

人や物、そして情報等の流れも加速度を増す中で、本県内に住む外国の方々の数も飛躍的に増加をし、現在では県民の2パーセント近くになろうとしています。地域の日常生活においても、多方面で本格的な国際化が求められる時代が到来してきております。

幸い本県におきましては、「とちぎ国際化推進プラン」を策定し、国際化推進のための種々の施策を展開してきております。また、私も縁あって現在協会の顧問として、若干協会の仕事のお手伝いをさせて頂いておりますが、多くの外国人来訪者の対応をしておられる協会職員の本懐な姿に接し、大変心強く思っております。

今後とも「世界に開かれたとちぎづくり」に積極的に取り組んでゆくことが大切だと考えておりますが、本県が真に世界に開かれた地域社会になるためには、県や市町の取組みはもとより、多くの民間の方々の国際交流、国際協力活動が何にも増して必要だと思います。

国際交流協会は、こうした民間の活動を支援する役割も担って参りましたが、開館12年目を迎える「とちぎ国際交流センター」を活動の拠点として、なお一層本県における地域レベル、民間レベルの国際交流、国際協力活動の支援、推進に努めてゆく必要があります。そうして、こうした活動を通して、これからの活力ある地域社会の実現にお役に立てることが出来るものと考えます。

県民の皆様には、今後とも栃木県国際交流協会に対し、限らない御支援、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、協会設立20周年に当たりの御挨拶といたします。

Tochigi
International
Association **20**th Anniversary 
1988-2008

卷頭企画

昭和63年度～平成9年度 (1988～1998)

昭和63年度



機関紙創刊号



協会設立 (栃木県自治会館内)



海外技術研修員・南米日系子弟留学生



とちぎ国際フェスティバル



南米移住者子弟短期研修生



設立記念シンポジウム



設立記念講演会

平成3年度



国際交流Q&A



設立3周年記念シンポジウム



食文化体験交流会

平成元年度



アジアのタブー (タイ映画)



栃木県海外移住者激励訪問団



お正月の集い

平成4年度



「外国人のための生活案内書」シリーズ (4言語)



とちぎジュニアサミット



外国人のための生活相談会

平成2年度



日本語講座



メキシコ栃木国際週間訪問団

History

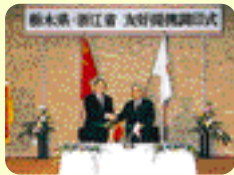
平成5年度



外国人向け定例相談



栃木県海外移住者激励訪問団



栃木県・中国浙江省
友好提携



栃木県交響楽団浙江省公演友好使節団



日仏青少年短期研修

平成6年度



ホームステイの手引き



在伯栃木県人会女性訪問団



とちぎコミュニケーションネットワーク

平成7年度



国際交流団体ダイレクトリー



US-JAPAN EXPO'95



フランス民族芸能団体



中国民族芸能団体



シンポジウム「地域でできる国際協力
・国際貢献」

平成8年度



国際交流相談ガイド



外国人のための栃木県地図



ホームページ



国際協力こつこつセミナー

平成9年度



機関紙増刊号



協会移転 (とちぎ国際交流センター)



知って得するガイド



センター開設記念国際化フォーラム



栃木浙江友好会館「杜鵑楼」竣工記念県民訪中団

平成10年度～平成19年度 (1998～2008)

平成10年度



ヴォークリューズ・ウイーク'98



外国人のための法律相談



キッズ・インターナショナル・クラブ

平成11年度



栃木県・米国インディアナ州
姉妹提携



テレビ番組



インディアナ州訪問産業交流調査団



インディアナ州派遣とちぎ文化工芸団

平成12年度



先生のための国際理解教育実践セミナー



浙江省国際青少年サマーキャンプ

平成13年度



クラブ・リセ



すびーくいんぐりっしゅ? & はうぶあん

平成14年度



日本語ボランティア養成講座



外国人日本語ボランティア養成セミナー



わいわい地球っ子クラブ

平成15年度



ラジオ番組



海外キラリ体験2DAYS

History

平成16年度



「ホレホレ博士とバカタンとアリのみんなのくらしを教えてね」シリーズ (2巻)



国際理解教育ファシリテーター養成講座



セミナー「外国人への医療支援」

平成19年度



機関紙第100号



コミュニティ通訳セミナー



100人村に大集合!

平成17年度



日本語ボランティア情報交換会



だれもがなかよく暮らせるように



とちぎ国際協力セミナー



とちぎ留学生奨学金

平成18年度



とちぎべんりマップ



ピース・トーク・マラソン2003-2007in 栃木



とちぎ・モンゴル文庫

平成20年度

TIA 設立20周年記念 とちぎインターナショナルフェスティバル



日本文化紹介



オープニングセレモニー



ステージ・パフォーマンス



屋外会場



外国文化紹介



栃木県・仏国ヴォークリューズ県交流協力提携

History

設立20周年に寄せて

(敬称略、五十音順)



社団法人栃木県経済同友会
国際化推進委員会

委員長 上野通子

財団法人栃木県国際交流協会設立20周年、誠におめでとうございます。

私ども、社団法人栃木県経済同友会では、社会貢献活動推進事業の一つとして、貴協会の「留学生支援事業」に協力させていただき、「とちぎ留学生民間奨学金」として奨学金を支給してきました。今後も、できる限りの支援を続けていきたいと思っております。

さて、昨年末米国から始まった経済恐慌の波は、世界中に波及しここ数年は地球全体に不景気が続くと思われております。

現在世界で、貧困の為に労働についている子どもが推定2億5千万人もいて、そのほとんどが危険で搾取的な状況下にあると言われております。この不況による貧困化が進めば、おそらく、貧困が原因で不幸な環境に巻き込まれる子どもの数も増加するでしょう。

このような先行き不透明な時代ではありますが、国際交流協会の皆様方とはさらに交流を深めさせていただき、私たち、経済同友会の会員一人一人が今まで以上に国際人として、何かできることはないかを“考え”て“行動”に移して行けますよう、会員一同強く望んでおります。

今後の栃木県国際交流協会のますますの発展を心から祈念いたします。



独立行政法人国際協力機構
JICA地球ひろば

所長 草野孝久

協会設立20周年おめでとうございます。

景気の悪化が進むなか国際協力どころではない、という人々の声が聞こえてきます。然るに、この不況が教えてくれるものは、誰でもグローバル化した国際経済の動きから無縁ではいけないということだと思います。地域社会の運営にも、国際的な感覚が重要だということを改めて考えさせられます。

また、私たち以上の苦況に置かれている開発途上国の人たちに思いを馳せないわけにはまいりません。多文化共生の社会づくりに取り組んでまいりましたが、外国人出稼ぎ労働者への対応も急務です。弱者の窮状にどう対応するのか、私たちの国際感覚が試されている時でもあります。

こうしたなか、熱意を持って国際交流・協力に取り組まれている栃木県国際交流協会に敬意を表しますとともに、今後とも国際協力機構(JICA)の事業へのご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。



栃木県産業労働観光部国際課

課長 桑名正史

設立20周年、誠におめでとうございます。財団法人栃木県国際交流協会の歩みと軌を一にするように、本県の外国人登録者数はこの20年で約6倍に増加し、海外との経済活動も一段と拡大してきましたが、この間、貴会におかれましては、民間国際交流団体の中核的機関として本県の国際化の推進に多大なご尽力をいただきました。

国際社会における経済や環境の諸問題は、今後も本県の国際化に大きな影響を及ぼすことが予想されますが、県といたしましては、こうした環境変化に柔軟に対応しながら、国際交流・国際協力の一層の促進と、外国人も含むすべての県民が、互いの文化や考え方を理解し安心して暮らすことのできる「多文化共生地域づくり」の推進に努めてまいりますので、引き続き貴会のご協力をいただきますようお願いいたします。

結びに、これまで貴会の事業に携われた方々のご功績に心から敬意を表するとともに、貴会の益々のご発展を祈念いたします。



在伯栃木県人会

会長 坂本アウグスト進

この度「栃木県国際交流協会設立20周年」を迎えられ、誠におめでとうございます。

在伯栃木県人会は昨年、創立50周年式典を福田富一知事はじめ、石坂真一県議会議長、議員の方、その他母県より多くの慶祝団をお迎えし、盛大に開催することができまして深く感謝致しております。

ちょうど、国際交流協会設立当時は、在伯栃木県人会は新学生寮の建設が始まり、母県の多大なご援助により無事立派なサロンと学生寮を建設することができました。また1994年には訪日女性訪問団を受け入れて頂き、国際交流協会の石塚事務局長はじめ協会の皆様の暖かい歓迎を受け、母県とブラジルの深い絆が出来婦人部員の県人会活動に大きな励みとなりました。今日に至っている事を思い熱くお礼を申し上げます。その他県費留学生、研修生、短期高校研修生の受け入れなどに際しましても、言葉も習慣も不自由不躱な私共の子弟を親切に温かくご指導下さり深く御礼を申し上げ、貴協会の皆様様に心から感謝致しますと共に、今後益々ご健勝でご発展されますよう祈念致します。



ホームステイボランティア

桜井 一郎

娘が学生時代に英国でホームステイをしたお返しにも兼ねたつもりで始めたホストファミリーですが、協会に登録させていただいたご縁で他からの受け入れも多くなり、改めて数えてみますと、今日まで十数カ国の方々に我が家の畳に寝ていただいたこととなります。

初めの頃は緊張気味だった私達も、今では普段の生活の中に知人を客に招くという感覚で、家族一同結構楽しんでいます。

保育園児の孫を見て、我が子を国に残してきた研修生が泣き出してしまったことも一度ならずですが、人懐こく時には巧まずして厳しい日本語の先生となる孫達や褒め上手なカミサンに囲まれて、一生懸命日本語を話すゲストの皆さんから沢山の思い出をいただけてきました。

今後とも協会のご指導をいただきながら、更にゲストの方に喜んでいただけるホストファミリーを目指して、お役に立っていきたくと思っています。



栃木県地域留学生交流推進協議会

会長 菅野 長右エ門

栃木県国際交流協会設立20周年おめでとうございます。

平成17年度から、新たな事業として、栃木県国際交流協会と共催で、地域の方々の協力を得ながら、留学生が日本人家庭に1泊2日のホームステイ、新規外国人留学生のためのガイダンス及びとちぎインターナショナル・フェスティバルの実施によって、栃木県内の約800名の留学生が大変お世話になっております。貴協会のご支援に深く感謝申し上げますとともに、貴協会の更なるご発展を祈念申し上げます。

また、我が国の「グローバル戦略」を展開する一環として、「留学生30万人計画」が打ち出されていますので、奨学金等の経済支援、宿舎の確保及び就職支援等、受け入れ環境の整備に関して、貴協会とも総合的・有機的に連携し、計画を推進していきたいと思っておりますので、引き続きご協力・ご指導下さいますよう、よろしくお願いいたします。



通訳ボランティア

中島 里美

協会設立20周年おめでとうございます。

私も貴協会にボランティア登録をさせていただいて15年ほどになります。その間、様々なところで通訳や翻訳の仕事をさせていただきました。この活動を通して多くの方々と触れ合うことができたことは、私の貴重な財産です。

これからも、日本で暮らす外国人の方々のために、また、日本と諸外国のよりよい交流のために、私も微力ながらご協力をさせていただきます。

今後も私達ボランティアがより動きやすいようにご支援をいただければ幸いです。

貴協会のますますのご発展をお祈りします。



栃木県産業労働観光部国際課

国際交流員 ラバイ ジャメル

2007年8月に、栃木県の国際交流員としてフランスから来た私は、「やあ！」の取材で国際交流協会のことを始めて知りました。協会の藤井さんから色々インタビューを受けたことが私の国際交流協会との初めての関わりとなりました。その後1年半の間私は、栃木県とフランスのヴォークリューズ県との友好交流を担当してきましたが、私と協会の関係はどんどん深くなってきました。ホストファミリー受入事業、友好交流青年相互派遣事業など、県と協会が協力して行います。県と協会は仕事を分担して、助け合っている関係でとても良いと思います。

私の仕事の一つは県内の小・中・高校を回って自分の国の紹介をすることです。高校に行っただとしても、すべての生徒の関心を引き起こすというのは簡単なことではありません。しかし、国際交流協会のクラブ・リセは様々な国と文化に関心を持った高校生が集まって構成されていますので、そこで講演した時に興味を示してくれた高校生のイメージは今でも心に刻み込まれています。今後もこのような機会を積極的に活用して、フランスを紹介したり県民の皆さんと交流したりしていきたいと思っております。

20周年、おめでとうございます！

国際交流団体の皆さんから

(敬称略、順不同)

F J C (日本語友の会)

代表 吉田 勉

在住外国人の悩みのトップは日本語能力の不足だという調査結果があります。F J C (日本語友の会)はT I Aのセンターをお借りして日本語教室を開いています。T I Aから外国人を紹介していただき感謝しています。

栃木ユネスコ協会

副会長 大木 洋三

本会は、1972年に当時の教育委員長(後の市長、現在は名誉市民)の提案で発足し、平和理念の育成に貢献している。主な活動は、「市民国際交流草の根活動」、「書きそんじハガキ・キャンペーン」及び「ユネスコ子ども学校」などがある。

モンゴル交流協会ナイルムダル

代表 大島 武行

◆国際交流発展のために◆県内に100を超える交流団体があります。ぜひ、国際交流を深く広く身近なものにしていくために、この交流団体が結び付きを深め、気楽に交流・協力できるように協議会設立を考えたいですね。

財団法人アジア農村交流協会

専務理事 田村 嘉應

T I Aは、年々増加している県内在住外国人の相談、交流などに、県民の国際理解の向上に成果を挙げてきました。今後はこれらに加えて、東南アジア、南アジア、アフリカなどへの、国際協力の分野へも活動を広げることを期待しています。

財団法人栃木県青年会館

事業課長 橋壁 光彦

協会設立20周年おめでとうございます。

これからも、T I Aが本県の「多文化共生社会」構築のターミナルとして有り続けてほしいと願っています。毎年技術研修員が来るのを楽しみにしています。

栃木インドネシア友好会の会

事務局長 上野勝二郎

インドネシアで今何が起きているのかを写真(新聞・雑誌)で会員に定期的にお届けしています。インドネシアに関するものであればどんなことでも話し合えるのが当会の特徴です。どうぞ気楽に御参加下さい。

足利市国際交流協会

事務局長 前原錦一郎

設立20周年おめでとうございます。当協会も平成4年に設立し16年になりますが、これも県協会のご支援のたまものと思っております。国際化の状況は社会経済により大きく変わり、事業展開も難しくなります。今後ともご支援をおねがいいたします。

栃木県国際教育研究所

所長 豊田 敏盟

設立20周年記念誌発刊おめでとうございます。当方主催の英語フォーラム開催に際しては、PR活動等でご尽力を賜りありがとうございました。私どもは現在、海外日本人学校での教育状況を調査中です。今後ともご支援よろしくおねがいいたします。

栃木県国際農友会

会長 住吉 壮介

栃木県国際交流協会設立20周年おめでとうございます。私たちは昨年のインターナショナルフェスティバルから本格的に参加いたしましたが他の団体に負けないよう国際交流を進めて行きたいと思えます。

清原地区国際交流会

会長 阿久津容子

設立20周年、おめでとうございます。宇都宮の一地域から民間で立ち上げ、地道に活動する中で、T I Aの日本語支援や他団体との交流の場の提供は、私達にとって大きな力となっております。今後も、幅の広い企画を期待しております。

喜連川日中友好協会

会長 稲澤 永次

国際交流活動の拠点として発足されたT I Aが設立20周年を迎え、慶祝。私達はT I Aの事業に最初から継続参加。私達の日中友好そば会、春節の集いで、国際交流員、海外技術研修員等との交流を深められ感謝しています。

那須烏山市国際交流協会

会長 鈴木 邦雄

設立20周年、おめでとうございます。我が協会も設立3年が経過している所です。まだまだヨチヨチ歩きの状態ですが、逐年年輪を刻みながら進んで行ければと思います。今後ご指導、ご協力をお願い致します。

日光市国際交流協会

会長 野澤 伸夫

祝！T I A 20周年 今後とも近隣の協会の皆様と協力し、国際交流や在住外国人支援を進めてまいります。賛同いただける方、楽しい国際交流イベントに参加希望の方はご連絡下さい。随時会員募集中！日光で国際交流してみませんか？

カンボジアっこ支援の会

会長 工藤美智子

世界中の人々との懸け橋として、年の活動を続けてきたT I Aの役割は大きい。世界的な不況の波が押し寄せている今日、人々の心に明りをとすためにも、T I Aの更なる発展に期待をしたい。

アジアの問題を考える会

代表 泉田スジダ

20周年おめでとうございます。県国際交流協会は世界と栃木県の橋渡しを行う機関で、県の国際化に貢献してきたと思います。また私どもの会のような小組織の交流活動にも支援を賜り、感謝申し上げます。

国際ソロプチミスト鹿沼

会長 石原 方恵

それぞれの国の方々が培って来た文化と日本の文化との違いを体験を通して日本を理解して下さり『思いやり』の精神の積重ねが世界平和につながるとしております。栃木県国際交流協会は大きな力となると信じて協力させていただきます。

財団法人とちぎYMCA

理事長 船津 祥

設立当初より、国際理解や開発教育の推進、在住外国人への支援などへご尽力たまわり、ありがとうございます。今後も、国籍、民族、人種、宗教を超えて、誰もが安心して平和に暮らせる栃木県となりますよう、ご協力よろしくお願いします。

ユニ音楽国際交流協会

事務局長 石田 忠隆

設立20周年おめでとう御座います。我々は、音楽を通じ海外との友好親善文化交流を図り、世界の平和に寄与する事を目的として設立され、チャリティーコンサート、海外で演奏、海外より演奏家を招聘等、国際的な文化音楽交流を行っています。

栃木県海外移住家族会

会長 長澤音三郎

ブラジル国の栃木県人会結成を機に、1962年（昭37）に設立した当会は、県費留学生研修生の歓送迎会に記念品を贈って激励するなど協会との関わりは深い。昨年ブラジル日本人移民百周年に総勢16名の会員が訪問し21世紀の絆を新たにしました。

さくら市国際交流協会

事務局 大嶋 友明

設立20周年おめでとうございます。栃木県の国際交流活性化に向けて、益々のご尽力を期待いたします。私達、さくら市国際交流協会も、活動の充実と拡大を図っているところであり、貴協会には今後もご教授お願い申し上げます。

宇都宮SGGクラブ

会長 駒庭 英夫

本クラブはJR宇都宮駅構内にあるi案内所や日光・益子などで外客の通訳案内活動をしています。また本クラブも今年で設立20年になることから、外客にも利用してもらえよう英語版小冊子、日光・宇都宮・益子案内を作成しました。

佐野市日中友好協会

事務局長 斉藤 康夫

佐野市周辺の住民とそこに住む中国人との交流で理解を深める活動を主として、中国映画祭、春節の集い、バーベキュー、中国文化講座など、中でも「春節の集い」（中国の正月）は毎年120名以上の盛会となります。

開発教育ネットワーク

会長 中川 哲夫

「希望」—国際交流と国際理解の未来の光
世界と私たちの心の絆
国境を超えた協力と学びの広場
様々な事業を通して、「希望」を与えてくれる栃木県国際交流協会をこれからも応援します。

栃木市国際交流協会

会長 増山 利雄

栃木県国際交流協会設立20周年、誠におめでとうございます。地域における国際化が進展する中、貴協会と共に、多文化共生のまちづくりに取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

NPO栃木タイムズ

代表 鈴木美恵子

T I A 設立20周年おめでとうございます。国際化が進む中、より良き多文化共生社会を構築するために、育、就労、医療、福祉、住居など、様々な面での環境整備が急がれます。それらを実現するために、その一端でも担えればと思っています。

栃木県ユネスコ連絡協議会

会長 間宵 勉

設立20周年、誠におめでとうございます。貴協会が様々な活動とおし国際交流・理解等の推進に貢献なされていることに敬意を表します。協議会もさらなる推進のため共に活動して参りたいと思います。

財団法人アンタレス山浦国際交流基金

事務局 田中 淑子

T I A 設立20周年とのこと、おめでとうございます。私共の財団も平成元年の設立以来、県内の高校生とフランスのヴォークリューズ県の高校生との交換留学の事業で、華雨蔵珍之館に表敬訪問して下さることを、楽しみにしております。

栃木県高等学校国際教育研究協議会

事務局長 田中由利子

設立20周年、おめでとうございます。貴協会には、本協議会の様々な活動を支援していただき、深く感謝申し上げます。今後も高校生の国際交流活動を発展させるため努力して参りますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

下野市国際交流協会

会長 伊沢 一郎

T I A 設立20周年誠におめでとうございます。当協会では、市民や在住外国人を対象に語学講座やイベント開催等様々な活動を行っています。姉妹都市ドイツとの交流を土台とし、市民を主体とした幅広い国際交流を目指しています。

世界平和女性連合栃木県連合会

副議長・渉外部長 板子 泉

グローバル化始動の88年誕生貴協会は、国連NGOボランティア活動を、地域に展開する場として女子留学生弁論大会、ギニアビサウ学校建設報告会や他団体交流等平和の文化発展に、支援協働下さり、今後の躍進を、祈念致します。

大平町日中友好協会

会長 熊倉 猛

私どもの協会は、貴協会から御援助をいただき、中国からの留学生を招待し「ぶどう交流会」を開催してきました。草の根の交流として今後も続けたいと思います。

とちぎの国際交流が、益々発展することを祈念いたします。

栃木県地域留学生交流推進協議会

事務局 鈴木貞一郎

平成17年度から、新たな本推進協議会の事業として、貴協会との共催で、1泊2日のホームステイが実現しました。日本家庭の日常生活を経験することで、地域の真の価値を発見する貴重な留学生への手助けに深く感謝いたします。

鹿沼市国際交流協会

会長 佐藤 信

栃木県国際交流協会設立20周年、誠におめでとうございます。私どもも、間もなく20周年を迎えますが、貴協会の先進的な活動を参考とさせて頂き、国際交流の推進に努めてまいりますので今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。

とちぎ日独協会

会長 橋本 孝

貴協会の設立とドイツの再統一は、ほぼ同時期です。2005年からは日独パートナー会議、日独青少年交流が本県で行われ、今も続いております。これも貴協会のお陰です。感謝し、これからの益々のご発展を祈念申し上げます。

高根沢町国際交流協会

会長 小林 栄治

栃木県国際交流協会設立20周年まことにおめでとうございます。貴協会の益々の発展と、諸外国との相互理解と友好親善に寄与するという目的達成のため、今後ともご活躍されることをお祈りいたします。

小山市国際交流協会

会長 大久保寿夫

栃木県国際交流協会の設立20周年、誠におめでとうございます。20年余にわたり、栃木県の国際化の推進に尽力されました会員の皆様から敬意を表します。設立20周年を機に、貴協会のますますのご発展をご祈念申し上げます。

佐野市国際交流協会

会長 矢島 堅司

平成4年協会が発足後、中学生の海外派遣や受入事業、国際交流事業等、様々な事業を実施してきた。今年から事務所を構え一人歩きを始めたのを契機に、外国人の方との共生の輪が今まで以上に広がるよう交流活動を推進していきたい。

宇都宮国際文化協会（UIC）

会長 加藤 直克

UICは、英語の勉強会を中心に外国人とのコミュニケーションを図る事業を実施しています。貴協会のご協力を頂き、海外技術研修員、県国際交流員や留学生との交流も始めました。20周年を祝い、更なる進展をご祈念いたします。

国際ソロプチミスト佐野

会長 鹿島 佐絵

青少年育成、地域奉仕、国際奉仕等の様々な活動を行ない11年目を迎えました。今後も更に女性に視点を充てたグローバルな奉仕、「緑の地球」再生の実現の為、今私達にできることから始めたいと思います。

国際ソロプチミスト宇都宮

会長 白石 洋子

フェスティバルへの参加は私共にとって楽しい異文化交流の場となっております。然し20年が経過した今日、県内に居住する外国人が著しく増え、問題も山積し、きめ細かな対応が求められており、貴協会の役割は益々重要になると存じます。

国際ソロプチミスト栃木

会長 亀井 明美

国際親善と理解を大切にS I 栃木は栃木工業高タイボランティア活動（車椅子修理及び子供達との交流）を18年間サポート。市国際交流協会と外国人スピーチコンテストを共催している。又T I A訪中団とご縁で研修目的の女医さんを1年間ホームステイでお世話をした事を思い出します。

さくら国際フレンドシップクラブ

会長 君島 利一

英会話や輪読会から産声を上げ、地域発を基調に日本語教室や海外の料理、スピーチ大会等を開催して15年。「さくら市から世界が見える」ようになれましたのも協会のご支援があったからこそその感謝と共に、益々のご発展をお祈り致します。

大平町国際交流協会

会長 小山 修一

財団法人栃木県国際交流協会設立20周年、おめでとうございます。これからも栃木県の国際交流発展のため、T I Aとともに取り組んでいきたいと思っています。T I Aのますますの発展を心よりお祈り申し上げます。

シャブラニールとちぎ架け橋の会

代表 吉田ユリノ

従来「国際交流」事業の比重が大きかった。しかし途上国の場合、交流ができるのは一部の富裕層であることが多い。今後は世界にある様々な問題を県民にどう伝えるかに知恵を絞ってほしい。又県民のそれらへの活動を活性化するような役割を担ってほしい。

特定非営利活動法人宇都宮市国際交流協会

理事長 臼井 佳子

20周年おめでとうございます。T I Aの役割は益々重要になるでしょう。私達UCIAも9月にNPO法人化しました。連携して、様々な課題に柔軟に取り組んでいきたいと考えています。今後もよろしく願います。

財団法人あしぎん国際交流財団

理事長 野村 光生

設立20周年、誠にありがとうございます。

今後ますます国際化は進み、共存していくなかで、国際文化相互理解はますます重要です。貴協会の活動がより発展的に広がりますようご活躍を祈念いたします。

真岡市海外友好協会

会長 福田 武準

栃木県国際交流協会の設立20周年を心よりお祝い申し上げます。

真岡市におきましても、昨年、米国グレンドーラ市との姉妹都市提携20周年を迎え、両市で記念式典を開催できましたことも、貴協会のこれまでのご指導、ご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

栃木県国際理解教育研究会

会長 奥澤 雅之

近年の国際情勢のグローバル化には、目を見張るものがあります。これまで以上に、国際交流の活発化が求められていくことと思います。真の国際化を目指して、これからも貴会と様々な面で協力させていただきたいと思っています。

Tochigi
International
Association **20**th Anniversary 
1988-2008

協会の概要

概 要

(平成20年4月1日現在)

名 称	財団法人栃木県国際交流協会 Tochigi International Association (TIA)
設 立	昭和63年10月1日
代 表 者	理事長 橋 本 俊 一
所 在 地	栃木県宇都宮市本町9番14号 (〒320-0033) とちぎ国際交流センター内 T E L 028-621-0777 028-627-3399 (相談専用) F A X 028-621-0951 U R L http://tia21.or.jp E-mail tia@tia21.or.jp
基本財産	289,805,989円 (栃木県 121,500,000円、市町村 62,000,000円、企業・団体・個人 106,305,989円)
賛助会員	個人 142、団体 32、法人 9
目 的	海外移住の推進及び援助並びに国際協力活動及び国際交流活動を行い、もって諸外国との相互理解と友好親善に寄与することを目的とする。
事 業	<ol style="list-style-type: none"> 1 海外移住についての情報の収集及び啓蒙 2 移住者及び移住者親族の福利厚生 3 移住者子弟等の受入及び交流 4 国際協力の推進 5 国際交流についての総合的相談 6 国際交流についての情報の収集、提供及び調査、研究 7 国際交流についての研修 8 国際交流についての催事 9 民間国際交流活動の振興 10 関係官庁及び団体との連絡調整及びこれらからの受託事務 11 その他協会の目的を達成するために必要な事業
主務官庁	栃木県
業務時間	8:30~17:30 (日曜日、月曜日、祝日及び12月29日から1月3日は除く)



とちぎ国際交流センター



沿 革

昭和29年12月17日 ● 財団法人栃木県海外協会設立

昭和61年11月29日 ● 栃木県国際交流懇談会（昭和60年9月設置）から国際交流協会設置の提言

昭和62年11月10日 ● 栃木県国際交流協会（仮称）設立検討委員会が設置され、幅広い視野で検討開始

昭和63年 4月 1日 ● 栃木県県民生活部国際交流課に協会設立準備担当を配置

9月28日 ● 財団法人栃木県海外協会理事会において、国際交流協会設立に向けた寄附行為の変更などを了承

10月 1日 ● 財団法人栃木県海外協会を改組拡充して財団法人栃木県国際交流協会を設立

● 事務所を栃木県自治会館（宇都宮市昭和1丁目2番16号）内に設置

平成元年 4月 1日 ● 事務局に総務課、業務課を設置

11月27日 ● シンボルマークの決定

平成 2年 1月23日 ● 栃木県における地域国際化協会として自治大臣から認定

平成 6年 8月1 日 ● 特定公益増進法人として栃木県知事から認定

平成 7年 4月 1日 ● 総務課を総務企画課に改組

平成 9年11月10日 ● とちぎ国際交流センター開設に伴い、事務所を同センター（宇都宮市本町9番14号）内に移転

平成10年 4月 1日 ● 業務日を火曜日から土曜日までに変更（従来は月曜日から金曜日まで）

財団法人栃木県国際交流協会設立の趣意について

近年における国際化の進展に伴い、世界の国々と我が国との人、物、技術などの交流は著しく深まり、今後その交流は更に拡大していくものと予想されています。

本県においても、現在約50か国4,300人余の外国人が在住し、昭和62年には、海外への渡航者は7万人を越え、海外からは約20万人の外国人が訪れるなど、その数は年々増加の傾向にあります。こうした中で、民間や県・市町村等においては経済をはじめ、文化、教育、スポーツ、技術等、あらゆる分野で幅広い国際交流活動が展開されつつあり、今後とも国際理解への深まり、国際親善の絆がますます深まるものと考えられます。

このような国際化の時代の中で、県民一人ひとりが「地球家族の一員」として世界の人々と様々な文化・価値感を相互に認め合いながら、自らの視野の拡大と発想の転換を図り、豊かな国際感覚を身につけ、地域の国際交流活動を推進する必要があります。ひいては、このことが本県の新たな地域文化の創造、地域の活性化につながるものと考えます。

このためには、県民一人ひとりの国際交流に関する様々な相談について、総合的、専門的に応じることのできる体制、国際交流活動に必要な各種サービスや情報を体系的に提供できる体制を新たに整備し、県民主体の交流活動を活性化させる環境づくりが求められています。

そこで、国際交流に関しての

1. 相談センターとしての機能
2. 情報センターとしての機能
3. 学習センターとしての機能
4. 行事・催事の実施センターとしての機能
5. 民間活動支援センターとしての機能
6. 国際協力推進センターとしての機能

などを有する組織を設置し、その運営を効率的かつ柔軟に行うため、企業、民間団体、学術研究機関をはじめ、県・市町村が相互に連携して、広く県民の英知を結集することが肝要であると考えております。

このような認識のもとに、このたび、21世紀に向けた本県の新たな飛躍をめざし、地域の国際交流活動を支援する中核的な役割を担う組織として、公益性、安定性を具備した民間と行政の共同出捐による財団法人栃木県国際交流協会を設立するものであります。

なお、設立に当たりましては、財団法人栃木県海外協会を発展的に改組することにより対応いたしました。

「わたしたちの民間外交～財団法人栃木県国際交流協会のごあんない（S63）」から

シンボルマーク



県民から537点の応募があり、野口喜美子さん（壬生町）の作品がシンボルマークとして採用された。

栃木県の頭文字Tをアレンジしたもので、鳥が美しい地球を背負って飛ぶ姿を通して、人々が世界（未来）に大きくはばたくように、そして、世界の人々との交流・連帯が末永く続くようにとの願いを込めたものである。

Tochigi
International
Association **20**th Anniversary 

1988-2008

事業の概要

平成63年度～平成19年度

情報収集 提供事業

●情報収集提供 ●図書閲覧室 ●外国人ネットワーク ●企画展示室

情報収集提供

(S63～)

県内外の情報収集を行うとともに、インターネット等のマルチメディアを利用して多岐にわたる最新情報を入手し、県民等に提供した。(昭和63年度～)

■海外安全ネットワーク

パソコン通信による海外渡航情報等を提供した。
(平成2～14年度)

■メッセージボード

来館者のための情報交換板を設置した。(平成2年度～)

■ニッポンネット

パソコン通信による国際交流情報等を提供した。
(平成3～12年度)

■ホームページ

インターネットによる協会情報等を提供した。
(平成8年度～)
(内容)協会の活動状況、県内国際交流団体の活動状況、
イベント情報、外国人のための生活関連情報
など
(言語)日本語、英語、中国語、スペイン語、
ポルトガル語、フランス語、韓国語

■インターネットコーナー

交流ラウンジに設置し、来館者に無料開放した。
(平成9年度～)

■マルチメディアコーナー

図書閲覧室に設置し、来館者に無料開放した。
(平成9年度～)

■とちぎ海外情報

栃木県にゆかりのある海外居住者「とちぎ海外フレン
ド」からの海外情報をインターネットで提供した。
(平成15、16年度)

書籍、ビデオテープ、CD、DVD、国歌テープ、国旗
等をそろえ、閲覧及び貸出を行った。(昭和63年度～)

■図書閲覧室蔵書等一覧 (平成20年4月1日現在)

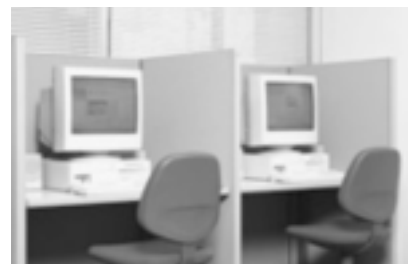
図書	4,031冊	国旗	掲揚旗220旗 (193か国)
ビデオテープ	318巻		卓上旗222旗 (192か国)
語学テープ	88セット	地域の旗	掲揚旗 4旗
ユニセフビデオ	74巻		卓上旗 4旗
CD-ROM	47巻	国連旗	掲揚旗 1旗
CD	42巻		卓上旗 1旗
DVD	38巻	栃木県旗	掲揚旗 1旗
LD	3巻		卓上旗 7旗
世界地図	4枚	協会旗	掲揚旗 1旗
地域別地図	117枚		卓上旗 15旗
国歌テープ	61巻		



メッセージボード



ホームページ



インターネットコーナー



マルチメディアコーナー



図書閲覧室

(S63～)

Topics

◆ホームページ（平成8年度）

迅速な情報を提供するため、ホームページの運営を開始した。

◆インターネットコーナー、マルチメディアコーナー（平成9年度）

県民の情報収集を容易にするため、さまざまな情報機器を設置した。

外国人 ネットワーク (H6～)

「とちぎコミュニケーションネットワーク（TCN）」に登録した在外外国人に各種情報を提供するとともに、登録者が特技等を生かして県内で行われる国際交流事業等に協力した。（平成6年度～）

年 度	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
登録者数	16	73	105	135	166	243	265	251	296	317	348	381	353	328

■TCN情報紙（平成8年度～）

（発行回数）年6回（平成16年度は5回）

（言語）日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語



TCN情報誌



TCNの集い

■TCNの集い（平成8～10年度）

（場 所）プラザイン・くろかみ（宇都宮市）（平成8年度）
とちぎ国際交流センター（宇都宮市）
（平成9、10年度）

年度		開 催 日	内 容	参加者数
8	第1回	3月22日（土）	折り紙講習会、交流パーティー	48
9	第2回	2月1日（日）	書道、福笑い、交流パーティー	25
10	第3回	3月14日（日）	登録者による外国文化紹介パーティー	81

■マルチカルチャー講座（平成8～10年度）

（開催日）2月19日（土）～3月18日（土）
（毎週土曜日）（全5回）

（場 所）とちぎ国際交流センター（宇都宮市）

（内 容）登録者による外国文化（トルコ、ブラジル、中国、フィリピン、ブルガリア）の紹介

（参加者）延べ133人



マルチカルチャー講座

センター内に企画展示室を整備し常設コーナーを設置するとともに、企画展を実施した。（平成9年度～）

■常設コーナー

栃木県の友好交流先である中国・浙江省、フランス・ヴォークリューズ県、アメリカ・インディアナ州の紹介コーナー。



常設コーナー

企画展示室 (H9～)

■企画展示

年度	タイトル
9	世界が見える写真展（11月） 中国浙江省展（11～12月） 青年海外協力隊・JICA専門家パネル展（1～2月） フランス・ヴォークリューズ展（3月）
10	フランス・ヴォークリューズ展（4～5月） 世界の民芸品展（6月） 東南アジア児童画展（7～8月） フランス・ヴォークリューズ企画展（ヴォークリューズウィーク）（8月） 「栃木浙江友好絵画交流事業」入選作品展（12月）
11	栃木県の友好交流州INDIANA, U. S. A（3月）
12	国連「新しい世紀のこどもの願い」展（6月） 青年海外協力隊パネル展（10～11月） とびだそう！世界へ～アジアの仲間たち～（1月） アジアの漫画・絵本展（2～3月）
13	青年海外協力隊活動パネル展（10～11月） ユニセフパネル展（1～2月） 青年海外協力隊募集パネル展（3月）
14	青年海外協力隊募集パネル展（4月～6月） 友好省州の魅力紹介（8月～10月） ユニセフパネル展～世界の子どもに笑顔を～（2～3月）
15	JICAパネル展～Iをください～（4～5月） 海外からきた物・もの・MONO（6～8月） インディアナキルト展（11～2月）
16	「何かが違う！」海外の漫画・絵本展（5～7月） 世界の子どもたち（3月）
17	世界の子どもたち（4月） JICA写真展～世界で活躍する栃木県出身のJICAボランティア～（4～6月） JICA写真展～国際緊急援助隊JDR～（7月） JICA写真展～ニジェル・灼熱と彩りの大地に生きる～（9～10月）
18	友好省州の魅力紹介（4～6月、2月～3月） TIAの国際理解クラブ（6～8月） 世界の絵本展（9月） 栃木県出身JICAボランティア展（9～11月） 私達が選んだ世界の民芸品（1～2月）
19	友好省州の魅力紹介（8～9月、11～12月、2～3月） 栃木県出身の青年海外協力隊（9～11月） 世界の年末年始と日本のお正月（12～1月）

■世界が見える写真展

とちぎ国際交流センターの開設を記念し、世界や人々の姿や交流の様子などを撮影した写真を公募し、入選作品を展示するとともに、卓上カレンダーを制作した。
（平成9年度）

（応募作品）160点
（入選作品）22点



広報 出版事業

●機関紙

機関紙
(S63～)

協会機関紙「T I Aニュースやあ！」(平成6年度までは「とちぎ国際交流」)を発行した。(昭和63年度～)

(仕様) A4判8ページ(平成2～6年度はB5判8ページ)、日本語、カラー

(部数) 4,000部(平成18年度まで3,500部)

(発行) 年4回(平成2～13年度は年6回)



年度	号数(発行月)	主な特集
63	創刊号(2月)	国際交流教養講座「アメリカ生活17年の随感」(上)
	第2号(3月)	国際交流教養講座「アメリカ生活17年の随感」(下)
元	第3号(8月)	ガンバレ!技術研修員
	第4号(10月)	ようこそとちぎへ
	第5号(1月)	南米徒然草～激励訪問団の16日間～
	第6号(3月)	栃木県浙江省友好調査団の10日間
2	第7号(5月)	ようこそとちぎへ(2年目を迎えた県費留学生)
	第8号(7月)	渡辺知事の中国浙江省訪問
	第9号(9月)	渡辺知事のフランス訪問
	第10号(11月)	とちぎインターナショナルフェスティバル'90
	第11号(1月)	国際理解作文コンテストで外務大臣賞受賞
	第12号(3月)	お正月国際交流の集い'91
3	第13号(5月)	T I Aの上手な利用の仕方～国際ライブラリー編～
	第14号(7月)	T I Aの上手な利用の仕方vol.2～アクティブ編～
	第15号(9月)	国際電話の利用方法豆知識
	第16号(11月)	とちぎインターナショナルフェスティバル'91
	第17号(1月)	新春インタビュー!留学生・お国のお正月を語る
	第18号(3月)	お正月国際交流の集い'92
4	第19号(5月)	ひと目でわかる平成4年度T I A自主事業
	第20号(7月)	食の楽園プロヴァンス料理の夕べ
	第21号(9月)	青春期の貴重な体験!高校生の海外留学
	第22号(11月)	外国人のための生活相談レポート
	第23号(1月)	とちぎインターナショナルフェスティバル'92
	第24号(3月)	お正月国際交流の集い'93
5	第25号(5月)	メキシコ栃木国際週間
	第26号(7月)	あなたもホストファミリーに
	第27号(9月)	栃木県内外国人子女情報
	第28号(11月)	とちぎインターナショナルフェスティバル'93
	第29号(1月)	アジアの夕べ～フィリピン編～
	第30号(3月)	栃木県交響楽団浙江省公演
6	第31号(5月)	栃木県日仏青少年短期研修事業～高校生フランス派遣～
	第32号(7月)	T I A国際交流相談事業レポート
	第33号(9月)	国際交流教養講座～アメリカの教育と日本の教育の違いについて～
	第34号(11月)	とちぎインターナショナルフェスティバル'94
	第35号(1月)	栃木県内大学留学生情報
	第36号(3月)	インタビュー～青年海外協力隊帰国隊員～

年度	号数(発行月)	主 な 特 集
7	第37号 (5月)	J E Tプログラム
	第38号 (7月)	新設大学・学部紹介～国際医療福祉大学・宇都宮大学国際学部～
	第39号 (9月)	外国人研修制度
	第40号 (11月)	海外旅行・滞在で注意すること
	第41号 (1月)	とちぎインターナショナルフェスティバル'95
	第42号 (3月)	栃木県・市町の友好交流県・姉妹都市案内
8	第43号 (5月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.1～ボリビア～
	第44号 (7月)	インタビュー～前栃木県香港駐在員 伊藤満さん～
	第45号 (9月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.2～マラウイ～
	第46号 (11月)	とちぎインターナショナルフェスティバル'96
	第47号 (1月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.3～ネパール～
	第48号 (3月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.4～コートジボワール～
9	第49号 (5月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.5～マーシャル諸島～
	第50号 (7月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.6～チュニジア～
	第51号 (9月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.7～ジンバブエ～
	第52号 (11月)	とちぎインターナショナルフェスティバル'97
	増刊号 (12月)	とちぎ国際交流センター
	第53号 (1月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.8～エクアドル～
10	第54号 (3月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.9～ラオス～
	第55号 (5月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.10～ホンジュラス～
	第56号 (7月)	栃木県の新しい交流先～米国インディアナ州～
	第57号 (9月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.11～ポーランド～
	第58号 (11月)	とちぎインターナショナルフェスティバル'98
	第59号 (1月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.12～タイ王国～
11	第60号 (3月)	プロトコール (国際儀礼)
	第61号 (5月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.13～グアテマラ～
	第62号 (7月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.14～ソロモン諸島～
	第63号 (9月)	栃木県・インディアナ州姉妹提携
	第64号 (11月)	とちぎインターナショナルフェスティバル'99
	第65号 (1月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.15～ルーマニア～
12	第66号 (3月)	新しくなったT I Aホームページ活用術
	第67号 (5月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.16～パプアニューギニア～
	第68号 (7月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.17～マレーシア～
	第69号 (9月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.18～バヌアツ共和国～
	第70号 (11月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.19～エルサルバドル共和国～
	第71号 (1月)	とちぎインターナショナルフェスティバル2000
13	第72号 (3月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.20～ボツワナ共和国～
	第73号 (5月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.21～ドミニカ共和国～
	第74号 (7月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.22～パキスタン・イスラム共和国～
	第75号 (9月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.23～ケニア共和国～
	第76号 (11月)	とちぎインターナショナルフェスティバル2001
	第77号 (1月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.24～西サモア～
14	第78号 (3月)	青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介No.25～セントルシア～
	第79号 (5月)	ワールドカップ共催記念～もっと知りたい！韓国～
	第80号 (8月)	がんばれ！小さな外国人～外国人児童教育の取組み～
	第81号 (11月)	とちぎインターナショナルフェスティバル2002
	第82号 (2月)	もっと知りたい！ベトナム

Topics

◆知って得するガイド（平成9年度）

「栃木県に住む外国人のための生活案内書」に代わる生活案内書を発行した。

◆だれもがなかく暮らせるように（平成17年度）

小学生の国際理解を促進するため、子供向け啓発資料を発行した。

年度	号数(発行月)	主な特集
15	第83号（5月）	日本で働く！～中国人会社員、タイ人調理師、日系人会社員 それぞれの模索～
	第84号（8月）	在ブラジル栃木県人会創立45周年記念『移住』
	第85号（11月）	世界の家族～ここが同じ！ここが違う！
	第86号（2月）	日本で学ぶ！～就学生・留学生の一日～
16	第87号（5月）	お家でできる国際理解
	第88号（8月）	外国人の強～い味方 相談員の活躍
	第89号（11月）	とちぎインターナショナルフェスティバル2004
	第90号（2月）	第2外国語のミワク・・・
17	第91号（5月）	日本で子育て①
	第92号（8月）	外国人のための「ニホンゴ」教室
	第93号（11月）	とちぎインターナショナルフェスティバル2005
	第94号（3月）	「やあ！ on TV」ができるまで
18	第95号（5月）	とちぎ国際セミナー～世界に飛び出す栃木の高校生たち～
	第96号（8月）	ピース・トーク・マラソン2003-2007 in 栃木
	第97号（11月）	とちぎインターナショナルフェスティバル2006
	第98号（3月）	目で見る国際協力
19	第99号（5月）	ホームステイ
	第100号（8月）	100号記念T I Aニュースやあ！の歩み
	第101号（11月）	とちぎインターナショナルフェスティバル2007
	第102号（3月）	広がる日本語スピーチコンテスト

出版物

(S63～)

在県外国人のための生活ガイドや地域の国際化を支援する印刷物を作成した。(平成63年度～)

■外国人向け出版物

平成元～4年度

栃木県に住む外国人のための生活案内書

(仕 様) 英語版（平成元年度）
中国語版（平成2年度）
スペイン語版（平成3年度）
ポルトガル語版（平成4年度）
※日本語併記

(部 数) 各2,000部

平成8、12年度

外国人のための栃木県地図

(仕 様) ローマ字・日本語併記
※一部英語・中国語・スペイン語・
ポルトガル語併記

(部 数) 1,300部（平成8年度）
5,000部（平成12年度）

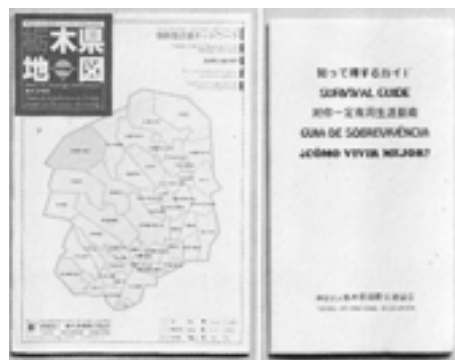
平成9年度

知って得するガイド

「栃木県に住む外国人のための生活案内書」に代わる生活案内書。

(仕 様) 英語・中国語・スペイン語・
ポルトガル語・日本語併記

(部 数) 10,000部



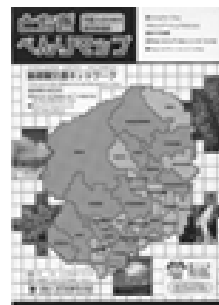
平成18年度

とちぎべんりマップ

「外国人のための栃木県地図」に代わる栃木県地図。

(仕様) ローマ字・日本語併記
※一部英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語併記

(部数) 15,000部



国際関連印刷物

昭和63、平成3年度

国際交流団体名簿

(部数) 各500部

平成3年度

国際交流Q & A

国際交流相談の事例をまとめたガイドブック。

(部数) 1,500部

平成6年度

ホームステイの手引き

(部数) 2,000部

平成7年度

国際交流団体ダイレクトリー

(部数) 1,000部

平成8年度

国際交流相談ガイド

「国際交流Q & A」に代わるガイドブック。

(部数) 600部

平成11～14、16年度

とちぎの国際交流団体ダイレクトリー

(部数) 各200部

平成17年度

だれもがなかよく暮らせるように

子ども(小学生)を対象とする国際理解啓発資料。

(部数) 130,000部



国際理解や国際交流を広く県民に啓発するテレビ番組やテレビコマーシャルを制作し放送した。(平成11年度～)
(放送局)とちぎテレビ

テレビ
(H11～)



テレビ番組



テレビCM

Topics

◆テレビ番組（平成11年度）

県民の国際化意識を啓発するため、地元テレビを活用した番組やコマーシャルの放送を始めた。

◆ビデオ（平成14、16年度）

小学生の国際理解を促進するため、子ども向けのビデオを制作した。

■テレビ番組

（タイトル）T I A ニュースやあ！on T V

年度	放送日（再放送日）	サブタイトル
11	12月20日（月）、3月20日（月）	
12	8月28日（月）、10月23日（月）、 1月22日（月）、3月26日（月）	①みんな地球人 ②テレビDE国際理解 ③外国人のお正月 ④アットホームなビデオ作家たち
13	9月17日（月）、11月12日（月）、 1月21日（月）、3月18日（月） （9月21日（金）、11月16日（金）、 1月25日（金）、3月22日（金））	喜怒哀楽 （4回シリーズ）
14	8月25日（日）、11月3日（日）、 1月19日（日）、2月15日（土）	①みんなイキイキ輝いている！国際協力最前線 レポート（3回シリーズ） ②ホレホレ博士とパカタンみんなのくらしを 教えてね
15	3月6日（土）・13日（土）・20日（土）・ 27日（土）	もうひとつの南米、そして未来に… （4回シリーズ）
16	3月1日（火）～3日（木）、 3月8日（火）～10日（木） （3月15日（火）～17日（木）、 22日（火）～24日（木））	とちぎに暮らす外国人TOP5 （6回シリーズ）
17	3月7日（火）～9日（木）、 3月14日（火）～16日（木） （3月21日（火）～23日（木）、 28日（火）～30日（木））	栃木の地球人 （6回シリーズ）

■スポットCM・番組提供

年度	放送期間	区 分
11	3月	スポットCM
18	12～3月	番組提供「イブニング6」、「うたの王様」
	12～1月	スポットCM
19	11～2月	番組提供「イブニング6」
	12～1月	スポットCM

ビデオ

（H14、16）

子ども（小学校低学年以上）向けの国際理解教育ビデオを制作し、関係機関に配布した。（平成14、16年度）

（配布先）県内の小学校、図書館、児童館等

年度	タイトル	制作本数
14	ホレホレ博士とパカタンのみんなのくらしを教えてね ～韓国・タイ・インドの文化紹介～ （22分）	600
16	ホレホレ博士とパカタンとアリリのみんなのくらしを教えてね ～ブラジル・ペルーの文化紹介～ （25分）	600



交流 交歓事業

●お正月の集い ●アジアのタベ ●アフリカン・ミュージック・フェスティバル～タンザニアのタベ～ ●とちぎインターナショナルフェスティバル

お正月の集い (S63～H4)

日本の伝統行事の「お正月」を通じ、県民と在県外国人との相互理解・友好交流のための催しを行った。

(昭和63年度～平成4年度)

(場 所) ニューみくら (宇都宮市)

(内 容) 餅つき、着付け、茶の湯、琴、生け花、書き初め、正月の遊び等



年度	開 催 日	参加者数 (内外国人数)
63	※昭和天皇崩御のため中止	
元	1月13日 (土) 12:00～16:00	333 (92)
2	1月12日 (土) 13:00～16:00	500 (130)
3	1月11日 (土) 13:00～16:00	600 (200)
4	1月9日 (土) 13:00～16:00	800 (300)



アジアのタベ (H元～6)

外国文化への理解と関心を深めてもらうため、身近なアジア諸国の民族芸能や料理等を紹介した。(平成元～6年度)

平成元年度

「アジアのタベ」

(開催日) 8月23日 (水) 18:00～21:00

(場 所) 栃木会館 (宇都宮市)

(内 容) タイ映画「ナンプーは死んだ」、
アジア留学生スピーチ、パネル展

(参加者) 500人

(共催者) 国際交流基金



平成2年度

「夢浪漫・インド」

(開催日) 8月28日 (火) 18:00～20:30

(場 所) 佐野市文化会館 (佐野市)

(内 容) 映画、民族舞踊・音楽、民芸品展示、パネル展

(参加者) 250人

(共催者) 栃木県インドカシミール友好協会



平成3年度

「インドネシア Jalan Jalan」

(開催日) 8月24日 (土) 16:00～20:00

(場 所) 西那須町民ホール (西那須野町)

(内 容) 民族舞踊、影絵芝居、ファッションショー、
合唱、料理、民芸品展示等

(参加者) 500人

(共催者) 大田原国際交流会、アジア学院後援会



Topics

◆お正月の集い（昭和63年度）

外国人と県民の交流を図るため、お正月イベントを始めた。

◆アジアの夕べ（平成元年度）

県民に近隣諸国の理解を深めてもらうため、アジア紹介イベントを始めた。

平成4年度

「韓国・オンオセヨ」

- (開催日) 8月29日(土) 16:00~20:00
(場 所) 鹿沼市民文化センター(鹿沼市)
(内 容) 民族音楽、留学生スピーチ、合唱、料理、民芸品展示、物産展等
(参加者) 500人
(共催者) 鹿沼市国際交流協会、栃木県日韓親善協会、栃木県日・韓女性親善協会、在日大韓民国居留民団栃木県本部



平成5年度

「フィリピン・魅惑の島々」

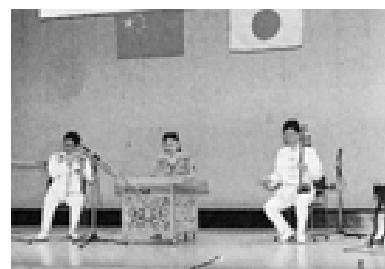
- (開催日) 11月21日(日) 14:00~17:00
(場 所) 石橋勤労者体育センター(石橋町)
(内 容) 民族舞踊、民族音楽、ファッションショー、合唱、料理、民芸品展示等
(参加者) 500人
(共催者) 石橋町国際交流協会



平成6年度

「中国・感動大陸」

- (開催日) 9月11日(日) 14:00~17:00
(場 所) 田沼町中央公民館(田沼町)
(内 容) 民族舞踊、民族音楽、雑技、太極拳、合唱、料理、民芸品展示等
(参加者) 1,000人
(共催者) 田沼町国際交流協会



アフリカン・ミュージック
フェスティバル
～タンザニアの夕べ～
(H2)

伝統民族音楽演奏者を招き、アフリカ音楽の演奏会を開催した。(平成2年度)

- (開催日) 5月30日(水) 19:00~20:30
(場 所) コンセーレ(宇都宮市)
(参加者) 400人
(共催者) 東邦生命保険相互会社宇都宮支社



とちぎ
インターナショナル
フェスティバル
(H2~)

地域の国際交流活動の一層の推進を図るため、国際交流団体等の協力により、多彩な交流交歓のフェスティバルを開催した。(平成2年度~)

- (内 容) 国際交流団体の活動紹介、民芸品・外国の料理・民族舞踊等の外国文化紹介、日本文化紹介等
(場 所) あけぼの公園(宇都宮市)(平成2~10年度)
とちぎ国際交流センター(宇都宮市)(平成11~12年度)
栃木県子ども総合科学館(宇都宮市)(平成13年度~)
(共催者) 国際協力事業団(JICA)(平成2~14年度)
財団法人自治体国際化協会(平成6年度)
国際協力機構(JICA)(平成15、16年度)
財団法人とちぎ青少年こども財団(平成15、16年度)



年度	開催日	参加者数(内外国人数)
2	11月3日(土) 10:00~15:00	3,000(700)
3	10月6日(日) 10:00~15:00	4,000(1,300)
4	11月8日(日) 10:00~15:00	7,000(2,100)
5	9月26日(日) 10:00~15:00	9,800(3,000)
6	10月30日(日) 10:00~15:00	10,000(3,000)
7	11月23日(祝) 10:00~15:00	11,000(4,000)
8	10月27日(日) 10:00~15:00	12,000(4,000)
9	9月21日(日) 10:00~15:00	10,000(4,000)
10	10月11日(日) 10:00~15:00	12,000(4,000)
11	10月30日(土)・31日(日) 10:00~16:00	2,000(800)
12	11月25日(土)・26日(日) 10:00~16:00	1,200(550)
13	10月14日(日) 10:00~16:00	5,000(800)
14	10月13日(日) 10:00~16:00	7,000(1,100)
15	10月12日(日) 10:00~16:00	7,500(1,500)
16	10月9日(土) 10:00~16:00	900(200) *台風による
17	10月8日(土) 10:00~16:00	3,000
18	10月7日(土) 10:00~16:00	3,300
19	10月6日(土) 10:00~16:00	5,000



食文化体験
交流会
(H3~8)

外国料理を通じ、異文化理解を図るとともに、外国人との交流交歓を深めた。(平成3~8年度)

平成3年度

「タンザニア料理教室」

(開催日) 10月25日(金)~27日(日)
(場 所) 南那須町、壬生町、鹿沼市
(講 師) 駐日タンザニア大使夫人 ス・ワンドゥ氏

平成4年度

「食の楽園 プロヴァンス料理のタベ」

(開催日) 5月9日(土)
(場 所) オーベルジュ・デ・マロニエ(宇都宮市)
(講 師) クリスティアン・エティエンヌ氏
(参加者) 100人

「タンザニア料理教室」

(開催日) 8月28日(金)~30日(日)
(場 所) 氏家町、黒羽町、田沼町
(講 師) 駐日タンザニア大使夫人 ス・ワンドゥ氏



Topics

◆とちぎ国際ナショナルフェスティバル（平成2年度）

国際交流活動の推進、県民と外国人の交流を図るため、気軽に参加できるフェスティバルを始めた。

◆日仏青少年短期研修事業（平成5年度）

県民レベルの国際交流を進めるため、次代を担う青少年の相互派遣を始めた。

平成6年度

「メキシコ料理講習会」

（開催日）7月21日（木）・22日（金）
 （場 所）南那須町、栃木市
 （講 師）駐日メキシコ大使秘書
 コンセプション・バスケス氏

平成8年度

「タンザニア料理講習会」

（開催日）8月9日（金）・10日（土）
 （場 所）栃木市、小山市
 （講 師）駐日タンザニア大使夫人
 テオピスタ・チアロ氏

栃木県の友好交流先であるフランス・ヴォークリューズ県と青少年（高校生）の相互派遣を実施し、相互の理解と交流の拡大を図った。（平成5年度～）

（実施主体：栃木県日仏青少年短期研修事業実施委員会）



日仏青少年 短期研修事業

(H5～)

年度	受入れ（期間・受入人数）		派 遣（期間・派遣人数）	
5	10月20日～11月1日	6	3月17日～28日	7
6	10月26日～11月8日	6	3月17日～30日	6
7	10月16日～28日	5	3月12日～25日	6
8	10月28日～11月9日	6	3月11日～24日	6
9	10月27日～11月8日	6	3月10日～23日	6
10	10月27日～11月7日	6	3月10日～23日	6
11	11月2日～14日	6	3月14日～27日	6
12	10月30日～11月11日	6	3月6日～19日	6
13	10月29日～11月10日	6	3月12日～25日	6
14	10月21日～11月2日	6	3月4日～17日	6
15	10月20日～11月1日	6	2月3日～16日	6
16	10月18日～30日	6	1月25日～2月7日	6
17	10月24日～11月5日	6	1月31日～2月13日	6
18	10月23日～11月4日	6	3月7日～20日	6
19	受入なし		2月27日～3月11日	6

※受入人数、派遣人数には引率者1人を含む



●民間国際交流団体紹介

民間国際交流 団体紹介

(H9)

とちぎ国際交流センターの開設を記念し、パネル展示、外国の料理、民族舞踊等を通して、団体の活動や内外の文化を紹介した。(平成9年度)

(開催日) 11月14日(金)・15日(土)

(場所) とちぎ国際交流センター(宇都宮市)

(参加団体) アジアの問題を考える会

いっくら国際文化交流会

交流会「仲間」

栃木県赤十字文化奉仕団

栃木県日・韓女性親善協会

栃木フィリピン人協会

日中アド・ワールド



研修事業

● 国際交流団体等連絡会議 ● 協会設立記念シンポジウム

国際交流団体等 連絡会議

(S63~H18)

民間国際交流団体、市町国際交流協会との連携や情報交換等を目的とした連絡会議を開催した。(昭和63~平成18年度)

※市町国際交流協会連絡会議は平成3~10年度

(場 所) 栃木県自治会館 (宇都宮市)

プラザイン・くろかみ (宇都宮市)

(平成7~9年度)

とちぎ国際交流センター (宇都宮市)

(平成10年度~)



年度	開催日	出席団体数	
		民間国際交流団体連絡会議	市町国際交流協会連絡会議
63	11月25日 (金)	42	
元	7月14日 (金)	30	
2	5月10日 (木)	33	
3	5月9日 (木)	40	
	12月25日 (水)		10
4	5月8日 (金)	44	
	12月22日 (火)	49	10
5	6月1日 (火)	45	15
6	6月1日 (水)	46	12
7	6月1日 (木)	51	15
8	5月30日 (木)	54	15
9	6月2日 (月)	51	15
10	5月29日 (金)	46	15
11	6月2日 (水)	52	
12	6月28日 (水)	46	
13	5月22日 (火)	38	
14	5月22日 (水)	48	
15	5月29日 (木)	41	
16	6月9日 (水)	49	
17	6月3日 (金)	34	
18	3月1日 (木)	36	

協会設立記念 シンポジウム

(S63)

「とちぎとアジア諸国の国際交流

~こころのふれあう交流を求めて~」

(開催日) 2月17日 (木)

(場 所) 栃木県青年会館 (宇都宮市)

(参加者) 140人

■ 基調講演「アジアの時代と日本の役割」

(講 師) 東京工業大学教授 渡辺利夫氏

■ パネルディスカッション

「とちぎとアジア諸国の国際交流」

(コーディネーター) ㈱栃木放送代表取締役社長 福嶋寿克氏

(パネリスト) 外務省国内広報課長 石橋太郎氏

栃木県県民生活部長 今井聰彦氏

シンガー日鋼㈱専務取締役 大和弘巳氏

栃木県日・韓女性親善協会会長代行 青木和子氏



婦人海外研修NGOフォーラム参加団長 鈴木清子氏
 アジアの問題を考える会代表 泉田スジンダ氏
 アジア学院長 高見敏弘氏
 宇都宮市市長公室長 田崎義久氏
 いっくら国際文化交流会会長 長門芳子氏
 栃木インドネシア友誼会の会長 増山瑞比古氏



協会設立記念
講演会
(S63)

「郷土（ふるさと）から見た世界」
 (開催日) 3月18日(水)
 (場 所) 宇都宮ロイヤルホテル(宇都宮市)
 (講 師) 作家 立松和平氏
 (参加者) 130人



とちぎ国際
セミナー
(S63~H17)

国際的視野を持った県内外の著名人等を講師に招き、講演会やシンポジウム等を開催した。(昭和63~平成17年度)
 ※平成9年度まで「国際交流教養講座」の名称

昭和63年度

**「アメリカ生活17年の随感
~これからの日米関係と日本の役割~」**
 (開催日) 1月12日(木)
 (場 所) 栃木県自治会館(宇都宮市)
 (講 師) M I G A (多数国間投資保証機関) 長官
 寺澤芳男氏
 (参加者) 230人



平成元年度

「オーストラリア横断~駱駝(らくだ)で半年間の旅~」
 (開催日) 7月14日(金)
 (場 所) 栃木県自治会館(宇都宮市)
 (講 師) 科学者(在日アメリカ人) パット・ザイサート氏
 (参加者) 96人



「地域の国際化と文化の創造」

(開催日) 3月3日(土)
 (場 所) 栃木県自治会館(宇都宮市)
 (講 師) 大阪大学人間科学部教授 青木 保氏
 (参加者) 80人



平成2年度

「すてきに反論されて」自作朗読会
 (開催日) 4月24日(火)
 (場 所) 栃木県自治会館(宇都宮市)
 (講 師) ドイツ女流作家 ヨハンナ・バルザー氏
 (参加者) 80人
 (共催者) とちぎ日独協会



Topics

◆協会設立記念シンポジウム、協会設立記念講演会（昭和63年度）

協会の設立を記念し、有識者や作家による講演会を開催した。

◆とちぎジュニアサミット（平成4年度）

大人が見逃している視点を県民の国際交流に取り入れ活性化を図るため、中学生による意見発表会を開催した。

「国際化のために～個性値ある人材を～」

（開催日）2月26日（火）
（場 所）栃木県自治会館（宇都宮市）
（講 師）亜細亜大学学長 衛藤藩吉氏
（参加者）150人
（共催者）国際交流基金



平成3年度

協会設立3周年記念シンポジウム

「交流から共存への道を考える」

（開催日）10月22日（火）
（場 所）プラザイン・くろかみ（宇都宮市）
（参加者）150名
（共催者）外務省、国際協力事業団（JICA）



■基調講演「国際交流から国際共存への道を考える」

（講 師）早稲田大学助教授 吉村作治氏

■パネルディスカッション

（コーディネーター）前外務省国内広報課企画官 内田 功氏
（パネリスト）国際協力事業団企画部長 河合正男氏
白鷗大学教授 石倉洋子氏
小山国際交流会会長 茂呂邦子氏
栃木県経済同友会国際問題委員会委員長 板橋敏雄氏
陶芸家（在県ポルトガル人） ジョゼ・ファロンバ氏



「国際交流とプロトコール」

（開催日）2月25日（火）
（場 所）栃木県自治会館（宇都宮市）
（講 師）外務省儀典官室事務官 白山明子氏
（参加者）200人



平成4年度

「とちぎジュニアサミット～私の目から見た国際交流～」

（開催日）11月28日（土）
（場 所）栃木会館（宇都宮市）
（コーディネーター）国際協力事業団広報課課長代理 山本愛一郎氏
（意見発表者）宇都宮市立陽北中学校 久保井玲子さん
矢板市立片岡中学校 小林俊雄くん
西方村立西方中学校 早乙女猛くん
西那須野町立西那須野中学校 小山田友美さん
茂木町立茂木中学校 小瀬真木子さん
馬頭町立馬頭東中学校 齋藤樹里さん
小山市立美田中学校 青木裕美さん
佐野市立北中学校 荒井宏美さん



（参加者）100人
（共催者）国際協力事業団（JICA）

平成6年度

「アメリカの教育と日本の教育の違いについて」

（開催日）7月21日（木）
（場 所）プラザイン・くろかみ（宇都宮市）
（講 師）アメリカ・ワシントン州ベルビュー公立高等学校教諭 エツコ・ショルツ氏
（参加者）100人



平成7年度

シンポジウム「地域でできる国際協力・国際貢献」

(開催日) 11月10日 (金)
 (場 所) プラザイン・くろかみ (宇都宮市)
 (参加者) 80人
 (共催者) 国際協力事業団 (J I C A)



■基調講演「地域でできる国際協力・国際貢献」

(講 師) 国際協力事業団理事 小澤大二氏



■パネルディスカッション

「身近にできる国際協力ってなんだろう？」

(コーディネーター) アジア学院那須セミナーハウス主事 安井武雄氏
 (パネリスト) 栃木県青年海外協力隊OB会会長 岡村真司氏
 栃木国際ナショナルライフライン事務局 大浦智子氏
 帰国子女教育関係者 (在県日系ブラジル人) 中島里美氏
 会社社長 (在県パキスタン人) アクバル・アバス・アリ氏

平成8年度

国際協力こつこつセミナー

(開催日) 10月17日～11月14日 (毎週木曜日)
 (場 所) プラザイン・くろかみ (宇都宮市)
 (参加者) 68人
 (共催者) 国際協力事業団 (J I C A)



■第1回 (10月17日)

「政府開発援助について」

(講 師) 国際協力事業団派遣事業部付 梅谷重夫氏

「地域における今後の活動」

(講 師) (財) 栃木県国際交流協会事務局長 石塚良行



■第2回 (10月24日)

ミニシンポジウム「外国人の考える身近な国際交流」

(コーディネーター) (財) 栃木県国際交流協会事務局長 石塚良行

(パネリスト) 在県パキスタン人 アクバル・アバス・アリ氏
 在県韓国人 朴

恵淑氏

在県ブラジル人 中島里美氏
 在県アメリカ人 マシュー・フレイリー氏
 在県タイ人 ポンサン・ワヤブットリー氏



■第3回 (10月31日)

ミニシンポジウム「海外で行われている国際協力」

(コーディネーター) 国際協力事業団関東支部支部長代理 大能雄一氏

(パネリスト) J I C A 帰国専門家 安藤泰正氏
 J I C A 帰国専門家 天尾 潔氏
 青年海外協力隊帰国隊員 九鬼紀子氏



Topics

◆国際協力こつこつセミナー（平成8年度）

これからの国際交流、国際協力を県民に考えてもらう機会を提供するため、講演やミニシンポジウムを開催した。

◆とちぎ国際交流センター開設記念国際化フォーラム（平成9年度）

とちぎ国際交流センターの開設を記念し、有識者によるフォーラムを開催した。

青年海外協力隊帰国隊員

田邊知成氏

■第4回（11月7日）

ミニシンポジウム「地元でこつこつやる方法」

（コーディネーター）（財）栃木県国際交流協会事務局長 石塚良行

（パネリスト）アジアの問題を考える会 中村千恵子氏

グローバル・グループ 星野洋子氏

交流会「仲間」 福田静江氏

栃木インターナショナルライフライン 志田正彦氏

交流グループ「フレあい」 手塚美保子氏



■第5回（11月14日）

「在日外国人の医療とカウンセリングの現状」

（講師）栃木県精神保健福祉センター所長 大西 守氏



「外国人をとりまく医療制度の問題点」

（講師）栃木インターナショナルライフライン代表 根本佳和氏



平成9年度

とちぎ国際交流センター開設記念

国際化フォーラム「外交の窓 in とちぎ」

（開催日）11月10日（月）

（場所）栃木県総合文化センター（宇都宮市）

（参加者）350人

（共催者）外務省、栃木県



■基調講演「アジアの中の日本の顔」

（講師）外務省経済局総務参事官 近藤誠一氏

■パネルディスカッション「聞くアジア」

（コーディネーター）外務省国内広報課企画官 三木達也氏

（パネリスト）アジア女性資料センター代表 松井やより氏

宇都宮大学国際学部教授 田所竹彦氏

準学校法人アジア学院校長 植田仁太郎氏

会社社長（在県パキスタン人）アクバル・アバス・アリ氏



平成10年度

「プロトコール（国際儀礼）～国際マナーとエチケット～」

（開催日）1月19日～2月2日（毎週火曜日）

（場所）とちぎ国際交流センター（宇都宮市）

（参加者）延べ186人

（共催者）社団法人日本外交協会

■第1回（1月19日）

「国際交流と国際儀礼」

（講師）外務省国内広報課課長補佐 杉田明子氏



■第2回（1月26日）
「より良い人間関係を築く国際マナー」
（講師）コミュニケーション・トレーナー、備インターリンク代表取締役 鈴木ひろ子氏



■第3回（2月2日）
「異文化コミュニケーションの留意点」
（講師）コミュニケーション・トレーナー、備インターリンク代表取締役 鈴木ひろ子氏

平成11年度

「We need you」
（開催日）3月18日（土）
（場所）とちぎ国際交流センター（宇都宮市）
（講師）陶芸家、文星芸術大学陶芸コース助教授 林 香君氏
（参加者）73人



平成12年度

「アラブから日本を考える」
（開催日）12月14日（木）
（場所）とちぎ国際交流センター（宇都宮市）
（講師）駐オマーン国特命全権大使 神長善次氏
（参加者）92人



「21世紀の幕開け～ボランティア国際年～」
（開催日）3月8日（木）
（場所）とちぎ国際交流センター（宇都宮市）
（講師）国連ボランティア名誉大使 中田武仁氏
（参加者）65人



平成13年度

「ノルウェーと日本～白夜とフィヨルドの国に赴任して～」
（開催日）4月6日（金）
（場所）とちぎ国際交流センター（宇都宮市）
（講師）駐ノルウェー王国特命全権大使 河合正男氏
（参加者）88人



「グローバル・コンサート on CRT」
（放送日）3月17日（日）13:00～14:00
（放送局）栃木放送
（内容）県内の小学校とブラジル人学校との音楽交流



平成14年度

「国際交流・国際協力あらかると
～世界中の中のちょっといい話～」
（開催日）3月11日（日）
（場所）とちぎ国際交流センター（宇都宮市）
（講師）NGO担当特命全権大使 五月女光弘氏
（参加者）104人



Topics

◆プロトコール（国際儀礼）（平成10年度）

県民に国際人として必要なマナーとエチケットを学んでもらうため、研修会を開催した。

◆ラジオ番組（平成13年度）

県民の国際理解をさらに促進させるため、地元ラジオを活用した番組の放送を始めた。

平成15年度

「ラジオで国際理解

～世界の家族 ここが同じ！ここが違う？～

（放送日）9月1日（火）～4日（木）15：30～15：40

（放送局）栃木放送

（内 容）在県外国人が母国の家族と日本の家族を比較



平成16年度

「音楽世界の交差点スペシャル

～アジアの民族音楽まるかじり！～

（放送日）2月14日（月）～17日（木）・

21日（月）～24日（木）16：45～16：55

（放送局）栃木放送

（内 容）アジア8か国の民族楽器、民族音楽の紹介



平成17年度

「世界に飛び出す栃木の高校生たち」

（放送日）3月4日～25日（毎週土曜日）

15：30～15：40

（放送局）栃木放送

（内 容）海外派遣プログラムに参加した高校生の体験発表



日本語講座

（H元～13）

在県外国人に対する日本語学習の機会を提供するとともに、外国人同士の交流の場と位置づけ、次のとおり開催した。

（平成元～13年度）

（開催日）毎週水曜日18：00～20：00、
毎週土曜日14：00～16：00（平成10年度～）

（場 所）協会研修室（栃木県自治会館内・宇都宮市）
とちぎ国際交流センター（宇都宮市）
（平成9年度②から）

（講 師）日本語教師 鈴木清子氏
日本語教師 牧野和枝氏（平成元年度②）

（共催者）栃木市（平成元年度②）、小山市（平成3年度②）



年度	期 間	受講者数	備 考
元	①11月～3月（12回）	21	①18：00～19：30
	②11月～3月（12回）	18	②18：30～19：30 栃木市役所で開催
2	①5月～8月（12回）	12	
	②9月～11月（12回）	11	
	③12月～3月（12回）	5	
3	①4月～7月（12回）	42	
	②7月～9月（12回）	16	②小山市役所で開催
	③10月～12月（12回）	27	
	④1月～3月（12回）	9	④10：00～12：00（毎週火曜日）
4	①4月～7月（16回）	24	
	②8月～12月（16回）	40	
	③12月～3月（15回）	27	
5	①4月～7月（16回）	27	
	②8月～12月（16回）	41	
	③12月～3月（16回）	6	

年度	期 間	受講者数	備 考
6	① 4月～7月 (16回)	17	③ (中級)
	② 8月～11月 (16回)	40	
	③ 11月～3月 (16回)	35	
7	① 4月～7月 (16回)	39	③ (中級)
	② 8月～11月 (16回)	31	
	③ 11月～3月 (16回)	27	
8	① 4月～7月 (16回)	28	③ (中級)
	② 8月～11月 (16回)	40	
	③ 11月～3月 (16回)	37	
9	① 4月～10月 (25回)	41	② (中級)
	② 11月～3月 (18回)	53	
10	① 4月～9月 (24回)	50	② (中級)
	② 10月～3月 (24回)	44	
11	① 4月～9月 (24回)	71	② (中級)
	② 10月～3月 (23回)	44	
12	① 4月～9月 (24回)	44	② (中級)
	② 10月～3月 (24回)	51	
13	① 4月～9月 (24回)	59	② (中級)
	② 10月～3月 (24回)	59	

県民を対象に市町国際交流協会等との共催により各種外国語講座を開催した。(平成元～5年度)

外国語講座

(H元～5)

英会話講座

(講 師) 英語指導助手 (A E T) デビン・ケルソー氏
(平成元年度)

協会国際交流相談員 高嶋仙子 (平成元、2年度)
協会国際交流相談員 林

恵子 (平成3年度～)

(共催者) 鹿沼市国際交流協会 (平成元年度)
栃木市国際交流協会 (平成2、5年度)
田沼町国際交流協会 (平成3年度)



年度	期 間	場 所	受講者数
元	8月～9月 (8回) 毎週月曜日 19:00～20:30	鹿沼市民文化センター (鹿沼市)	43
2	7月～10月 (16回) 毎週水曜日 19:00～20:30	栃木市役所会議室 (栃木市)	63
3	7月～10月 (16回) 毎週水曜日 19:00～20:30	田沼町役場会議室 (田沼町)	26
4	7月～10月 (16回) 毎週水曜日 19:00～20:30	石橋町中央公民館 (石橋町)	30
5	11月～3月 (16回) 毎週木曜日 18:30～20:00	栃木市勤労者総合福祉センター (栃木市)	32

石橋町国際交流協会 (平成4年度)

中国語講座

(講 師) 協会インタープリターバンク登録者 呂
沂錚氏 (平成元年度)

協会インタープリターバンク登録者 李

Topics

◆日本語講座（平成元年度）

外国人が栃木県で快適に生活できるように支援するため、日本語講座を始めた。

◆外国語講座（平成元年度）

外国人とのコミュニケーションを容易にするため、県民向けの外国語講座を始めた。

（共催者）氏家町国際交流協会（平成元年度）
南那須町国際交流協会（平成2年度）
鹿沼市国際交流協会（平成3年度）
真岡市海外友好協会（平成4年度）
佐野市国際交流協会（平成5年度）

年度	期 間	場 所	受講者数
元	8月～9月（8回） 毎週木曜日 19：00～20：30	氏家町役場（氏家町）	23
2	6月～10月（16回） 毎週火曜日 18：30～20：00	南那須町農村改善センター（南那須町）	31
3	8月～11月（15回） 毎週火曜日 18：30～20：00	鹿沼市立中央公民館（鹿沼市）	25
4	5月～9月（16回） 毎週水曜日 18：30～20：00	真岡市公民館（真岡市）	26
5	9月～1月（16回） 毎週月曜日 19：00～20：30	佐野市城北地区公民館（佐野市）	33

■フランス語講座

（講 師）協会インタープリターバンク登録者 栗坪容子氏（平成元年度～）
（共催者）馬頭町国際交流会、馬頭町教育委員会（平成3年度）

年度	期 間	場 所	受講者数
元	8月～9月（8回） 毎週火曜日 19：00～20：30	協会研修室 （栃木県自治会館内・宇都宮市）	16
2	6月～10月（16回） 毎週火曜日 19：00～20：30	協会研修室 （栃木県自治会館内・宇都宮市）	23
3	7月～10月（16回） 毎週木曜日 19：00～20：30	馬頭町山村開発センター（馬頭町）	13

■スペイン語講座

（講 師）協会インタープリターバンク登録者 加納美和氏

年度	期 間	場 所	受講者数
4	6月～10月（16回） 毎週火曜日 18：30～20：00	協会研修室 （栃木県自治会館内・宇都宮市）	23

■ポルトガル語講座

（講 師）協会国際交流嘱託員 永田アンナ恵

年度	期 間	場 所	受講者数
5	9月～2月（16回） 毎週木曜日 19：00～20：30	協会研修室 （栃木県自治会館内・宇都宮市）	15

地域の将来を担う青少年を留学させ、地域の国際交流を推進するため、YFU日本協会及び財団法人自治体国際化協会と共同で、高校生（1人）を選考派遣した。（平成3～5年度）

年度	派 遣 者	派遣国
3	行木大輔くん（栃木県立宇都宮高等学校）	アメリカ
4	今井麻希子さん（栃木県立宇都宮女子高等学校）	アメリカ
5	西村麻実さん（栃木県立宇都宮女子高等学校）	カナダ

青少年国際交流員
海外留学派遣

（H3～5）

- 外国文化体験講座～世界と遊ぼう～ ●キッズ・インターナショナル・クラブ ●国際交流員の国際理解講座
●派遣・受入協力 ●先生のための国際理解教育実践セミナー ●子ども映画会

外国文化体験講座 ～世界と遊ぼう～

(H9)

外国文化を体験しながら異文化・異風土の認識を深めるとともに、外国人との交流を図る講座を開催した。

(平成9年度)

(開催日) 2月1日(日)

(場 所) とちぎ国際交流センター(宇都宮市)

(内 容) モロッコの料理、アメリカ・ブラジル・ポリビア・フランス・ニュージーランド・中国の歌、踊り、クイズ、ゲームなど

(参加者) 70人



キッズ・ インターナショナル・ クラブ

(H10～13)

外国人との触れ合い等の体験を通して、子どもたちの国際感覚を養う体験教室を開催した。(平成10～13年度)

(場 所) とちぎ国際交流センター(宇都宮市)

年度	開催日	内 容	参加者数
10	7月24日(金) ～26日(日)	外国の遊び、料理、世界旅行 (外国の言葉など)	延べ144 (保護者を含む)
11	1月22(土) ・23日(日)	外国の遊び、言葉、料理	延べ100 (保護者を含む)
12	1月27日(土)	外国の遊び、言葉、遊び道具製作	41
13	1月26日(土)	外国の遊び、言葉	47



国際交流員の 国際理解講座

(H10～12)

栃木県が中国浙江省から受け入れた国際交流員による国際理解講座を開催した。(平成10～12年度)

(場 所) とちぎ国際交流センター(宇都宮市)

年度	開催日	タイトル・講師	参加者数
10	2月9日・16日・23日、 3月9日・16日 (各火曜日)(全5回)	「中国漢詩文化講座」 栃木県国際交流課国際交流員 張 要武氏	各回 約50
11	3月3日(金)・7日(火)・ 10日(金)・14日(火)・ 16日(木)(全5回)	「太極拳入門講座」 栃木県国際交流課国際交流員 毛 依群氏	各回 10～16
12	11月8日(水)・15日(水)・ 22日(水)・28日(火) (全4回)	「中国の大運河巡り講座」 栃木県国際交流課国際交流員 施 華忠氏	各回 30～42

Topics

◆キッズ・インターナショナル・クラブ（平成10年度）

子どもの国際感覚を養うため、外国人との交流体験教室を始めた。

◆先生のための国際理解教育実践セミナー（平成11年度）

「総合的学習の時間」の実施に向けて参考情報を提供するため、学校教員を対象にするセミナーを始めた。



派遣・受入協力

(H11～)

主催者からの要請により、国際理解関連事業に在県外国人や協会職員を講師として派遣するとともに、インターン、社会体験学習、施設見学等の希望者を受け入れた。(平成11年度～)

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19
派遣件数	1	9	10	20	20	20	41	38	30
受入件数	0	18	10	23	14	14	1	7	8

先生のための国際理解教育実践セミナー

(H11～15)

国際理解教育に関心のある小中学校の教師を対象に、「総合的学習の時間」の参考となる情報を提供するためのセミナーを開催した。(平成11～15年度)

(場 所) とちぎ国際交流センター (宇都宮市)

栃木県総合教育センター (宇都宮市) (平成15年度)

年度	開催日	内 容	受講者数
11	2月4日(金)	情報と実践方法	52(小学校教師)
12	①8月10日(木)	情報と実践方法	12(中学校教師)
	②2月22日(木)	実践方法	52(小学校教師)
13	2月26日(火)・28日(木)	実践方法(体験学習・事例報告等)	66(小・中学校教師)
14	2月27日(木)・28日(金)	実践方法(体験学習・事例報告等)	32(小・中学校教師)
15	2月24日(火)	実践方法(参加型学習の実践方法、事例報告等)	19(小・中学校教師)



子ども映画会

(H12、13)

小学生を対象に、国際理解に結びつく劇映画やアニメーションの上映会を開催した。(平成12、13年度)

(場 所) とちぎ国際交流センター (宇都宮市)

年度	開催日	タイトル	参加者数
12	1月27日(土)	親子で見てね映画会	42
13	1月26日(土)	親子で見てねユニセフアニメ	31

すぴーく
いんぐりっしゅ?
はうふあん
(H13)

中学生を対象に、英語を通して国際感覚を養うための体験教室を開催した。(平成13年度)

(開催日) 1月12日(土)
(場 所) とちぎ国際交流センター(宇都宮市)
(内 容) 英語によるアクティビティ、外国の遊び
(参加者) 22人



クラブ・リセ
(H13~)

高校生の国際理解を深めるため、さまざまな国際理解プログラムを実施するクラブを運営した。(平成13年度~)

(場 所) とちぎ国際交流センター(宇都宮市)
JICA二本松(福島県)(平成17年度第25回)
JICA地球ひろば(東京都)
(平成18年度特別企画)

(共催者) 国際協力機構(JICA)
(平成17年度第25回、平成18年度特別企画)

(その他) TIAボランティアとして事業に協力するとともに、他団体の主催事業に参加した。
(平成13~15年度)

「ピース・トーク・マラソン2003-2007 in 栃木」及び「栃木国際協力フォーラム2007」に出展した。(平成18年度)



年度		開催日	テーマ	参加者数 (延べ人数)	会員数 (年度末)
13	第1回	7月27日(土)	世界地図から考える&フォトランゲージ	47	34
	第2回	9月22日(土)	韓国を知ってますか?		
	第3回	11月24日(土)	模擬国連を体験しましょう		
	第4回	1月26日(土)	日本の高校と外国の高校の違いは何?		
	第5回	3月9日(土)	国際協力について考えるパート1		
14	第6回	5月25日(土)	国際協力について考えるパート2	55	56
	第7回	7月27日(土)	AFS留学生との交流会		
	第8回	9月21日(土)	ニュージーランド・マスカウ市高校生との交流会		
	第9回	12月14日(土)	日本の高校と外国の高校の違いは何?パート2		
	第10回	1月25日(土)	模擬国連を体験しましょうパート2		
	第11回	3月15日(土)	楽しく学ぶ国際理解~ディベート~		
15	第12回	5月24日(土)	国際協力について考えるパート3	27	52
	第13回	8月5日(火)	インディアナ大学生とのHOTなSUMMER MEETING		
	第14回	9月20日(土)	マイケル・バリとのバリバリミーティング		
	第15回	12月13日(土)	日本の高校と外国の高校の違いは何?パート3		
	第16回	3月27日(土)	楽しく学ぶ国際理解パート2		
16	第17回	5月22日(土)	模擬国連を体験しましょうパート3	87	47
	第18回	7月27日(火)	アメリカ高校生との交流会&ワークショップ		
	第19回	9月25日(土)	海外ボランティア報告会と異文化体験ゲーム		
	第20回	11月27日(土)	県内大学留学生が語る“私の日本留学”		
	第21回	1月29日(土)	英語で学ぶ本当のザンビア		
	第22回	3月12日(土)	緊急支援活動について考える		

Topics

◆クラブ・リセ（平成13年度）

高校生の国際理解をより深めるため、クラブの運営を始めた。

◆わいわい地球っ子クラブ（平成14年度）

小学生の国際理解をより深めるため、クラブの運営を始めた。

年度		開催日	テーマ	参加者数 (延べ人数)	会員数 (年度末)
17	第23回	5月28日（土）	フランスヴォークリューズ県とフランス語の魅力に迫る	94	66
	第24回	7月28日（木）	アメリカ高校生との交流会パート2		
	第25回	9月17日（土）	わいわいバスツアー（わいわい地球っ子クラブとの共同開催）		
	第26回	11月26日（土）	バングラデシュのストリートチルドレン		
	第27回	1月22日（日）	カリブ海の楽園・ドミニカ共和国		
	第28回	3月19日（日）	“核・nuclear” あなたは賛成ですか、反対ですか？		
18	第29回	5月28日（日）	フランス人はなぜデモをするのか？	109	57
	第30回	7月26日（水）	アメリカ・イギリスの若者との交流会		
	特別企画	8月23日（水）	わいわいバスツアー2006（わいわい地球っ子クラブとの共同開催）		
	第31回	9月30日（土）	料理交換会with A F S 留学生		
	第32回	1月27日（土）	私の国を紹介します ボリビア&カンボジア		
	第33回	3月17日（土）	ネパールの女性と子どもの状況		
19	第34回	5月26日（土）	日本とアメリカを比べてみると…？	112	41
	第35回	7月16日（月）	アメリカの若者との交流会		
	第36回	8月3日（金）	セバステイアン、フランスの高校生を語る		
	第37回	9月16日（日）	先入観と異文化理解		
	第38回	11月18日（日）	メキシコよもやま話		
	第39回	1月26日（土）	なるほど世界はおもしろい！中国・ブラジル編		
	第40回	3月15日（土）	知りたかった！アメリカ大統領選挙		



わいわい 地球っ子クラブ (H14~)

小学生（3～6年生）を対象に、国際理解につながる講座や情報を提供するクラブを運営した。（平成14年度～）

（場 所）とちぎ国際交流センター（宇都宮市）

J I C A二本松（福島県）（平成17年度特別企画）

J I C A地球ひろば（東京都）

（平成18年度特別企画）

（共催者）国際協力機構（J I C A）

（平成17、18年度特別企画）

（その他）「わいわいレター」を年4回発行した。

（平成14年度は2回）



年度		開催日	テーマ	参加者数 (延べ人数)	会員数 (年度末)
14	第1回	12月14日（土）	わいわいクリスマス	57	66
	第2回	3月8日（土）	フィリピンで遊ぼう！		
15	第3回	6月21日（土）	もっと知ろう！中国！	169	84
	第4回	10月4日（土）	ビバ！ブラジル！		
	第5回	12月13日（土）	わいわいクリスマス		
	第6回	3月13日（土）	きらきら・スリランカ		

年度		開催日	テーマ	参加者数 (延べ人数)	会員数 (年度末)
16	第7回	6月12日(土)	アミーゴス・ペルー!	145	66
	第8回	9月11日(土)	アンコール・カンボジア!		
	第9回	12月11日(土)	わいわいクリスマス		
	第10回	3月5日(土)	ワクワク・ドイツ!		
17	第11回	6月11日(土)	シンチャオ・ベトナム	158	53
	第12回	9月10日(土)	サバイディー・ラオス		
	特別企画	9月17日(土)	わいわいバスツアー(クラブ・リセと共同開催)		
	第13回	12月3日(土)	わいわいクリスマス		
18	第14回	3月4日(土)	ナマステ・ネパール	135	43
	第15回	7月8日(土)	サラーム・イラン		
	特別企画	8月23日(水)	わいわいバスツアー2006(クラブ・リセと共同開催)		
	第16回	9月9日(土)	にこにこ・タイランド		
19	第17回	1月13日(土)	わいわいお正月	98	35
	第18回	3月10日(土)	ナマステ・インド		
	第19回	7月7日(土)	ボンジュール・フランス		
	第20回	9月8日(土)	アバカバー・マレーシア		
	第21回	12月8日(土)	わいわいクリスマス		
	第22回	3月8日(土)	韓国・アンニョンハセヨ		



日本語を教えよう！
ステップ1
(H14～)

日本語指導ボランティアを養成する研修会を開催した。(平成14年度～)
 ※平成16年度まで「日本語ボランティア養成講座」の名称
 ※平成14年度は受講者が多く、経験者と初級者の2クラスに分けて開催
 (講師) 宇都宮大学留学生センター教授 梅木由美子氏 (平成14年度)
 宇都宮大学講師 田中はるみ氏 (平成14、15、18年度)
 国際医療福祉大学講師 渡辺晴世氏 (平成15年度/第4回のみ)
 宇都宮大学・作新学院大学等講師 石川美和氏 (平成16～18年度)
 栃木タイムズ代表 鈴木美恵子氏 (平成16年度/第4回のみ)
 フリーアナウンサー、栃木県教育委員会委員 臼井佳子氏 (平成19年度)
 (内容) 地域の日本語教室やボランティアの概要、初心者向けの日本語の教え方 など



Topics

◆日本語を教えよう！ステップ1（平成14年度）

外国人の日本語教育を普及させるため、日本語指導ボランティアを養成する講座を始めた。

◆外国人日本語ボランティア養成セミナー（平成14年度）

外国人への日本語指導の新たな手段を探るため、外国人が外国人に日本語を教えるボランティアを養成する講座を始めた。

年度	期 間	場 所	受講者数	共 催 者
14	11月9日～12月21日 (11月23日を除く毎週土曜日) (全6回) 13:00～16:15	足利市研修センター (足利市)	経験者ク ラス:33 初心者ク ラス:42	足利市国際交流協会 佐野市国際交流協会 田沼町国際交流協会
15	8月23日～9月27日 (毎週土曜日) (全8回) 13:00～16:15	大田原地域職業訓練セン ター (大田原市) ほか	54	
16	8月28日～10月2日 (毎週土曜日) (全6回) 13:00～16:15	小山市コミュニティーセ ンター分館 (小山市)	36	
17	8月27日～10月1日 (毎週土曜日) (全6回) 13:30～15:30	栃木市民会館 (栃木市)	33	栃木市国際交流協会
18	8月26日～10月14日 (毎週土曜日) (全8回) 13:30～15:30	日光市生きがいセンター (日光市)	32	日光市国際交流協会
19	6月28日～8月9日 (8月2日を除く毎週土曜日) (全8回) 13:00～16:00 (8月9日は17:00 まで)	真岡市公民館真岡西分館 (真岡市)	40	真岡市

外国人日本語 ボランティア 養成セミナー (H14～16)

外国人の日本語指導ボランティアを養成する研修会を開催した。(平成14～16年度)

(場 所) とちぎ国際交流センター (宇都宮市)

(講 師) 宇都宮大学講師 田中はるみ氏 (平成14年度)

宇都宮大学講師 金子正子氏 (平成15、16年度)

着物コンサルタント 広岡きい子氏

(平成16年度/第3回のみ)

(内 容) 日本語の復習、日本語の教え方、日本語教室との
関わり、きもの着付け (平成16年度のみ) など



年度	期 間	受講者数	受講者の主な出身国
14	2月8日～3月1日 (毎週土曜日) (全4回) 13:00～15:10	34	中国、韓国、ブラジル、タイ、 フィリピン、スリランカ
15	1月17日・31日、2月14日・28日 (各土曜日) (全4回) 13:00～16:15	22	中国、ブラジル、韓国、ベトナム
16	2月19日～3月12日 (毎週土曜日) (全4回) 13:00～16:15	20	中国、タイ、韓国

- 国際理解教育キャラバン隊 ●国際理解教育ファシリテーター養成講座 ●日本語ボランティア情報交換会
- 国際理解ワークショップ～100人村に大集合！～

国際理解教育 キャラバン隊

(H16)

学校の教員に国際理解教育に必要な情報を提供するため、学校の研修会等に講師を派遣した。(平成16年度)

(場 所) 栃木県立のざわ養護学校他2校

(講 師) 財栃木県国際交流協会職員

(内 容) 異文化ゲームの紹介、英語活動を国際理解に結びつけるプログラムの紹介等

(参加者) 116人(教員)

(共催者) 国際協力機構(JICA)

国際理解教育 ファシリテーター 養成講座

(H16～19)

国際理解教育に関心のある県民を対象に、国際理解教育を実践するファシリテーターとして必要な知識・技術を提供する講座を開催した。(平成16～19年度)

(講 師) 桜井・法貴グローバル教育研究所代表 桜井高志氏

(共催者) 国際協力機構(JICA)(平成16年度のみ)

年度	開 催 日	場 所	内 容	受講者数
16	6月26日(土)、 7月3日(土)(全2回)	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	・新しい国際理解教育の 進め方 ・ファシリテーターとし ての役割と技術	33
17	①6月18日(土)・19日(日)、 7月9日(土)・10日(日)、 11月12日(土)(全5回) ②6月25日(土)・26日(日)、 7月23日(土)・24日(日)、 11月19日(土)(全5回)	①足利市研修センター (足利市)、 足利市民会館 (足利市)(11月12日) ②とちぎ国際交流セン ター(宇都宮市)	・ファシリテーターの役割 ・プログラムの実践方法 ・実践プログラム発表	①19 ②36
18	7月1日(土)・2日(日)・ 22日(土)・23日(日)、 12月9日(土)(全5回)	大田原市勤労者総合福祉 センター(大田原市)	・新しい国際理解教育の 理論と方法 ・プログラムの実践方法 ・実践プログラム発表	18
19	6月30日(土)、7月1日(日)・ 21日(土)・22日(日)、 11月10日(土)(全5回)	鹿沼市菊沢コミュニテイ センター(鹿沼市)	・新しい国際理解教育の 理論と方法 ・プログラムの実践方法 ・実践プログラム発表	37



Topics

◆国際理解教育ファシリテーター養成講座（平成16年度）

国際理解教育の普及に対応するため、ファシリテーターを養成する講座を始めた。

◆国際理解ワークショップ（平成19年度）

世界の状況を県民にわかりやすく学んでもらうため、ワークショップを開催した。

日本語ボランティア 情報交換会

(H17～)

日本語指導の経験者を対象とするスキルアップ研修とボランティア間の情報交換を兼ねる研修会を開催した。
(平成17年度～)

(講師) 宇都宮大学等講師 金子正子氏

(場所) とちぎ国際交流センター (宇都宮市)

年度		開催日	内 容	受講者数
17	第1回	7月30日(土) 13:00～16:15	・事例発表(小山市国際交流協会)との話し合い ・日本語教授法「新しい学習項目の効果的な導入方法」	28
	第2回	1月28日(土) 10:00～16:00	・事例発表(清原地区国際交流協会「アミーゴ」)との話し合い ・日本語教授法「楽しい口頭練習のコツ」	28
18	第3回	9月10日(日) 10:00～16:00	・事例発表(一步一步日本語)との話し合い ・日本語教授法「応用練習の方法—“言える”から“使える”へ	23
	第4回	3月9日(金) 10:00～16:00	・日本語教授法「流れのある授業の組み立て方、教案の作り方」 ・グループワーク「実際に教案を書いてみよう！」	31
19	第5回	7月20日(金) 10:00～16:00	・教材、教具の作り方と活用法 その1 ・オリジナル教材の発表 ・グループワーク「絵カードの作成と活用法」	26

国際理解 ワークショップ ～100人村に大集合!～

(H19)

世界の人口を100人に見立てた「世界がもし100人の村だったら」の内容を体験するワークショップを開催した。

(平成19年度)

(開催日) 11月11日、12月2日・9日(各日曜日)

(講師) 桜井・法貴グローバル教育研究所代表 桜井高志氏

■宇都宮会場(11月11日)

(場所) とちぎ青少年センター(宇都宮市)

(参加者) 107人

■足利会場(12月2日)

(場所) 足利市織姫公民館(足利市)

(参加者) 73人

■大田原会場(12月9日)

(場所) 栃木県立県北体育館(大田原市)

(参加者) 108人



留学生 支援事業

●留学生支援

留学生支援 (H2～)

県内の高等教育機関（大学・高等専門学校）で学ぶ留学生在が、充実した留学生活を送ることができるように、奨学金等を支給するとともに、新規留学生への生活ガイダンスやホームステイを実施した。（平成2年度～）

■支援金

県内の留學生に、図書教材費相当の支援金を支給した。
（平成2～16年度）
（支給額）月額1万円（平成12～16年度は月額7千円）
（期間）6月（前期と後期で1年）

■とちぎ留学生民間奨学金

県民から寄付を募り、学費の捻出が困難な私費留學生に奨学金を支給した。（平成16年度～）
（支給額）月額2万円
（交付者）2人（各年度）
（期間）1年

■とちぎ留学生世界遺産・環境保全奨学金

県民から寄付を募り、学費の捻出が困難で、世界遺産や環境保全等に関する研究に熱意のある私費留學生に奨学金を支給した。（平成17年度～）
（支給額）月額2万円
（交付者）1人（各年度）
（期間）1年

■とちぎ留学生国際ソロブチミスト宇都宮奨学金

県民から寄付を募り、学費の捻出が困難で、帰国後は女性の生活向上等に貢献するアジア出身の女性私費留學生に奨学金を支給した。（平成18年度）
（支給額）月額2万円
（交付者）1人
（期間）1年

■とちぎ留学生奨学金

従来の支援金制度を見直し、県内の私費留學生に奨学金を支給した。（平成17年度～）
（支給額）月額5万円
（交付者）20人（各年度）
（期間）1年



年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
留學生数	132	167	207	256	286	278	268	263	276	318
交付者数										
（前期）	115	146	195	239	259	182	168	157	157	155
（後期）	122	155	204	247	185	176	160	157	159	157
交付金額	月額1万円									

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	
留學生数	422	518	697	795	884	956	928	846	
交付者数						23	24	23	
（前期）	230	240	307	311	303				
（後期）	230	224	305	295	331				
交付金額	月額7千円					月額2万円(2人)		月額5万円(20人) 月額2万円(3～4人)	

（留學生数(毎年5月1日現在)／栃木県地域留學生交流推進協議会調べ）

地域国際化 連携事業

● 後援・共催名義承認 ● 国際化推進事業助成

後援・共催 名義承認

(S63～)

国際交流団体等が実施する事業に対して、後援・共催名義の使用承認を行った。(昭和63年度～)

年 度	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
後援件数	9	16	22	24	28	26	29	20	29	22	19	24	38	38	19	22	36	44	39	40
共催件数	0	0	0	2	4	5	3	3	3	3	3	7	2	6	6	13	9	5	0	0

国際化推進 事業助成

(H元～)

県内の国際交流団体や国際交流団体で組織する実行委員会
が実施する事業に対して、事業費の一部（上限20万円）を助
成した。(平成元年度～)

年 度	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
助 成 件 数	5	6	12	7	16	10	17	16	17	13
助成金額(千円)	600	961	1,783	1,123	1,400	1,391	1,354	1,401	1,347	1,400

年 度	11	12	13	14	15	16	17	18	19
助 成 件 数	15	20	15	13	19	16	10	10	7
助成金額(千円)	1,400	1,399	1,280	900	1,261	1,168	1,164	701	552

助成団体一覧

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 足利市国際交流協会 | 栃木市日中友好協会 |
| 足利日仏協会 | 栃木県高等学校国際教育研究協議会 |
| 足利ユネスコ協会 | 栃木県国際教育研究所 |
| アジア学院 | 栃木県国際農友会 |
| アジアの問題を考える会 | 栃木県青年海外協力隊OB会 |
| いっくら国際文化交流会 | 栃木県青年国際交流機構 |
| 今市市国際交流協会 | 栃木県赤十字文化奉仕団 |
| 氏家町国際交流協会 | 栃木県地域留学生交流推進協議会 |
| 宇都宮国際文化協会（UIC） | 栃木県日韓親善協会 |
| 宇都宮市国際交流協会 | 栃木県日・韓女性親善協会 |
| 宇都宮ユネスコ協会 | 栃木県婦人教育推進連絡協議会 |
| エクパットグループ栃木 | 栃木県ユネスコ連絡協議会 |
| 大田原国際交流会 | 栃木県立大田原女子高等学校Sクラブ |
| 大平町日中友好協会 | 栃木市国際交流協会 |
| 小山国際交流会おいふあ | 栃木タイムズ |
| 小山ユネスコ協会 | とちぎ日独協会 |
| 開発教育ネットワーク | 栃木ユネスコ協会 |
| 鹿沼市国際交流協会 | とちぎYMCA |
| カンボジアっこ支援の会 | 日光国際交流協会 |
| 清原地区国際交流会 | 日本ユーラシア協会栃木県支部 |
| 黒羽国際交流会 | 馬頭町国際交流会 |
| グローバル・グループ | ひまわり |
| 交流会「仲間」 | まちなか世界ネットーとちぎ海外協力NGOセンター |
| 国際交流たみの会 | メキシコ民族舞踊開催実行委員会 |
| 佐野市国際交流協会 | メトロ国際交流協会 |
| 佐野ユネスコ協会 | 真岡市海外友好協会 |
| シャプラニールとちぎ架け橋の会 | モンゴルからの風実行委員会 |
| 世界平和女性連合栃木県連合会 | モンゴル交流協会ナイラムダル |
| 田沼町国際交流協会 | 豊かな自然と文化を語る会実行委員会 |
| チェルノブイリの子もたちを支援する会 | ラボ国際交流センター |
| 都賀町国際交流会 | リサイクル運動友の会 |
| とちぎ教育ネットワーク | |
| 栃木経済交友会 | |

● 翻訳支援事業 ● 日本語教室応援事業

翻訳支援事業

(H7～)

栃木県が政府調達協定に基づく競争入札公告をする際の翻訳業務を行った。(平成7年度～)

年 度	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
翻訳件数	5	12	10	9	5	8	3	9	5	15	7	18	20

日本語教室
応援事業

(H17～)

ボランティアによる日本語教室の立ち上げや運営などの相談や日本語指導教材の支援を行った。(平成17年度～)

年 度	17	18	19
教材支援件数	11	11	15



相談事業

●総合相談 ●外国人のための専門相談 ●外国人のための相談会

総合相談 (S63～)

■通常相談

国際交流相談員を中心に、県民や在県外国人からの各種相談に応じるとともに、情報提供を行った。(昭和63年度～)
(相談日) 毎週火曜日～土曜日 9:00～16:00
※平成9年度までは月曜日～金曜日を実施
(場 所) 相談コーナー(とちぎ国際交流センター)
※平成9年度途中までは協会事務室(栃木県自治会館内)
(対応者) 相談員(英語、ポルトガル語、スペイン語)
※ポルトガル語は平成5年度から
※スペイン語は平成10年度から



■定例相談

通常相談以外の外国語による相談に応じるため、通訳協力者を確保して定例相談日を開設した。(平成5～17年度)
(相談日) 毎週土曜日 9:00～16:00
※平成9年度までは火曜日を実施
(場 所) 相談コーナー(とちぎ国際交流センター)
※平成9年度途中までは協会研修室(栃木県自治会館内)
(対応者) 相談員(英語、ポルトガル語、スペイン語)
通訳協力者(中国語、ペルシャ語、タイ語)
※タイ語通訳協力者は平成11年度から
※相談の言語や日時など、より柔軟な相談体制を整えるために、通常相談(予約制)で対応した。
(平成18年度～)

外国人のための 専門相談 (H8～)

■外国人のための精神保健相談

栃木県精神保健福祉センターの協力により、外国人の精神保健に関する相談、カウンセリングを実施した。(平成8年度～)
(相談日) 第1・3火曜日 15:00～16:00(予約制)
※平成17年度までは13:30～16:00
(場 所) 栃木県精神保健福祉センター
※平成17年度まではとちぎ国際交流センター
(対応者) 医師、相談員、通訳協力者

■外国人のための法律相談

栃木県弁護士会の協力により、外国人の法律問題に関する相談を実施した。(平成10年度～)
(相談日) 第1火曜日 10:00～12:00(予約制)
※第1火曜日が祝日の場合は、第3火曜日
(場 所) 相談コーナー(とちぎ国際交流センター)
(対応者) 弁護士、相談員、通訳協力者

外国人のための 相談会 (H4～)

■外国人のための生活相談会

栃木県・茨城県・群馬県国際交流協会の共同事業として、外国人を対象に無料相談会を同時期に開催した。(平成4年度)
(第1回) 10月4日(日) 10:00～15:00
相談件数 46件
(第2回) 11月22日(日) 10:00～15:00
相談件数 46件



●外国人のための相談会

■外国人のための無料法律相談会

栃木県弁護士会との共同事業として、在県外国人を対象に無料法律相談会を開催した。(平成6年度～)

年度	日	時	場 所	対 応 言 語
6	11月15日 (火)	9:00~16:00	協会研修室 (栃木県自治会館・宇都宮市)	英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語、ペルシャ語
7	11月14日 (火)	9:00~16:00	協会研修室 (栃木県自治会館・宇都宮市)	英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語、ペルシャ語
8	11月12日 (火)	9:00~16:00	協会研修室 (栃木県自治会館・宇都宮市)	英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語、ペルシャ語
9	11月18日 (火)	9:00~16:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語、ペルシャ語、タイ語
10	12月1日 (火)	10:00~16:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、ペルシャ語
11	11月2日 (火)	10:00~16:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、ペルシャ語、タイ語
12	11月7日 (火)	10:00~16:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、ペルシャ語、タイ語
	11月12日 (日)	10:00~12:00	栃木市文化会館 (栃木市)	
13	11月6日 (火)	10:00~16:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、ペルシャ語、タイ語
	12月2日 (日)	10:00~13:00	真岡市公民館 (真岡市)	
14	11月10日 (日)	10:00~12:00	鹿沼市民情報センター (鹿沼市)	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語
	12月3日 (火)	10:00~16:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	
15	11月4日 (火)	10:00~16:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語
	11月16日 (日)	10:00~12:00	厚崎公民館 (黒磯市)	
16	11月2日 (火)	10:00~16:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語
	11月14日 (日)	10:00~12:00	小山市コミュニティーセンター分館 (小山市)	
17	11月1日 (火)	10:00~16:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語
	11月6日 (日)	10:00~12:00	真岡市公民館 (真岡市)	
18	11月7日 (火)・12日 (日)	10:00~16:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、タイ語、フィリピン語
19	11月13日 (火)~17日 (土)	10:00~12:00	とちぎ国際交流センター (宇都宮市)	英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、タイ語

相談件数(年度別)

年 度	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9
外 国 人	19	66	98	71	249	533	751	846	939	1,015
日 本 人	72	127	179	187	293	314	385	431	362	433
計	91	193	277	258	542	847	1,136	1,277	1,301	1,448

年 度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
外 国 人	1,122	988	1,115	1,099	1,201	1,196	1,076	1,362	1,271	1,395
日 本 人	456	568	545	549	588	551	515	532	471	489
計	1,578	1,556	1,660	1,648	1,789	1,747	1,591	1,894	1,742	1,884

Topics

◆外国人のための精神保健相談（平成8年度）

外国人が抱える精神的な悩みに対応するため、メンタルヘルス相談を始めた。

◆外国人のための法律相談（平成10年度）

外国人が抱える法律問題に対応するため、法律相談を始めた。

相談内容(昭和63～平成10年度)

外国人からの相談

年 度	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日 本 留 学	4	11	5	5	6	6	10	15	11	6	12
情 報 提 供	3	16	28	14	92	266	440	580	642	757	805
日 本 語 学 習	3	10	22	21	30	46	57	62	70	48	61
日 本 滞 在	4	21	29	10	39	95	124	141	160	168	165
そ の 他	5	8	14	21	82	120	120	48	56	36	79
計	19	66	98	71	249	533	751	846	939	1,015	1,122

日本人からの相談

年 度	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
海外留学・滞在	15	40	29	22	11	20	32	51	43	34	56
海外情報提供	16	26	36	16	25	41	32	36	30	31	26
バンク運営	9	43	99	83	136	144	150	173	155	228	229
国際交流情報	4	0	0	0	0	62	128	98	88	92	78
そ の 他	28	18	15	66	121	47	43	73	46	48	67
計	72	127	179	187	293	314	385	431	362	433	456

相談内容(平成11～19年度)

外国人からの相談

(～H16)		(H17～19)		11	12	13	14	15	16	17	18	19
日 本 滞 在	ビザ・在留資格・旅券			145	153	165	200	189	155	201	253	251
教 育	学 校 教 育									26	23	34
	留 学 ・ 奨 学 金			100	118	130	113	119	94	7	6	5
	日 本 語 ・ 外 国 語 学 習									36	48	43
労 働	雇 用 ・ 契 約 ・ 労 災			96	109	138	117	132	88	86	89	125
医 療 福 祉	医 療 ・ 病 院 ・ 心 理 福 祉			179	181	149	190	180	178	140	127	120
	結 婚 ・ 離 婚 ・ 家 族									218	214	225
民 事	警 察 ・ 検 察									28	23	25
	調 停 ・ 裁 判			307	326	330	411	401	353	30	54	88
	消 費 者 問 題									11	28	46
	交 通 事 故 ・ 違 反 ・ 免 許									36	51	60
税 金	税 金 ・ 年 金			22	34	40	27	34	22	66	62	88
多 文 化 交 流	講 師 紹 介 依 頼			46	45	39				2	0	3
	翻 訳 ・ 通 訳 依 頼						60	60	23	66	85	110
協 力 者 バ ン ク	協 力 者 バ ン ク			22	30	34				3	6	13
海 外 情 報	情 報 提 供 ・ そ の 他			18	13	21	22	18	5	368	167	119
そ の 他				53	106	53	61	63	158			
計				988	1,115	1,099	1,201	1,196	1,076	1,362	1,271	1,395

日本人からの相談

(～H16)		(H17～19)		11	12	13	14	15	16	17	18	19
日 本 滞 在	ビザ・在留資格・旅券			41	42	36	37	38	18	42	51	39
教 育	学 校 教 育									12	12	10
	留 学 ・ 奨 学 金			63	88	99	107	83	56	17	14	5
	日 本 語 ・ 外 国 語 学 習									18	21	22
労 働	雇 用 ・ 契 約 ・ 労 災			13	23	10	48	55	41	12	17	13
医 療 福 祉	医 療 ・ 病 院 ・ 心 理 福 祉			57	55	57	84	82	39	22	27	25
	結 婚 ・ 離 婚 ・ 家 族									9	5	5
民 事	警 察 ・ 検 察									36	49	43
	調 停 ・ 裁 判			73	81	59	116	102	119	5	2	1
	消 費 者 問 題									2	5	9
	交 通 事 故 ・ 違 反 ・ 免 許									3	3	2
税 金	税 金 ・ 年 金			0	2	2	0	7	1	5	5	6
多 文 化 交 流	講 師 紹 介 依 頼			99	80	78				15	5	6
	翻 訳 ・ 通 訳 依 頼						116	98	61	119	143	168
協 力 者 バ ン ク	協 力 者 バ ン ク			138	107	160				36	21	21
海 外 情 報	情 報 提 供 ・ そ の 他			46	35	39	29	26	14	173	83	109
そ の 他				38	32	9	51	60	166			
計				568	545	549	588	551	515	532	471	489

相談員・ 通訳協力者 研修会

(H16)

外国人支援に携わる相談員や通訳協力者の活動を支援する研修会を開催した。(平成16年度)

(テーマ)「外国人への医療支援～医療通訳の現場から～」

(開催日) 2月19日(土)

(場 所) とちぎ国際交流センター(宇都宮市)

(講 師) NPO法人多言語社会リソースかながわ
プログラムアドバイザー 西村明夫氏
医療通訳スタッフ、医療通訳・一般通訳コーディネーター 鈴木クリスチーナ美幸氏

(参加者) 53人

(共催者) 地域国際化協会連絡協議会



コミュニティー 通訳セミナー

(H19)

コミュニティー通訳に必要な心構えや関連する制度に関するセミナーを開催した。(平成19年度)

(開催日) 11月10日・17日、12月1日・15日(各土曜日)

(場 所) とちぎ国際交流センター(宇都宮市)

(参加者) 延べ165人

■第1回(11月10日)

「多文化共生社会とコミュニティー通訳」

(講 師) 千里金蘭大学社会学部准教授 水野真木子氏

■第2回(11月17日)

「外国人と法律」

(講 師) 大木和弘法律事務所弁護士 大木和弘氏

■第3回(12月1日)

「外国人と医療」

(講 師) NPO法人多言語社会リソースかながわ事務局長 松延 恵氏

■第4回(12月15日)

「外国人と災害」

(講 師) NPO法人多文化共生センター東京 田中阿貴氏



協力者バンク 運営事業

●協力者バンク運営 ●国際交流ボランティア養成講座

協力者バンク 運営 (S63～)

国際交流・国際協力活動に協力する人材バンクの募集、登録及び紹介を行った。(昭和63年度～)

■トランスレーターバンク

通訳や翻訳をする人材バンク。
※平成10年度まで「インタープリターバンク」の名称

年 度	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
登録者数	84	134	125	137	141	170	192	214	227	289	320	64	77	97	74	86	81	87	85	79
紹介件数	4	13	23	23	33	36	31	50	38	86	83	52	48	52	60	70	78	101	127	139

※平成11年度から登録更新制に変更

■ホストファミリーバンク

外国人の宿泊やホームビジットを受け入れる人材バンク。
※平成10年度まで「ホームステイ等バンク」の名称

年 度	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
登録者数	64	86	89	94	108	119	126	127	143	143	152	52	64	71	54	55	42	42	32	39
紹介件数	0	17	13	10	13	22	6	30	16	49	8	26	26	38	33	22	16	13	20	14

※平成11年度から登録更新制に変更

■インストラクターバンク(平成2年度～)

趣味や特技を県民や外国人に紹介する人材バンク。
※平成10年度まで「文化交流サービスバンク」の名称

年 度	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
登録者数			6	25	33	34	42	53	69	77	90	30	34	39	29	23	14	15	7	3
紹介件数			0	2	3	2	3	5	7	9	3	1	1	3	5	7	2	1	0	0

※平成11年度から登録更新制に変更

国際交流 ボランティア 養成講座 (S63)

バンク登録者を対象に、ボランティアの心構えや意見交換に関する講座を開催した。(昭和63年度)

(テーマ) ・地域における国際交流はどうあるべきか
・一人ひとりができる国際交流活動

(開催日) 2月14日(火)・28日(火)、
3月7日(火)・14日(火)(全4回)

(場 所) 栃木県自治会館(宇都宮市)

(講 師) 栃木県国際交流員 アンドリュー・カーク氏
(財) 栃木県国際交流協会国際交流相談員 高嶋仙子

(参加者) 延べ100人



海外移住者 援護事業

●南米日系人子弟留学生受入

南米日系人子弟
留学生受入
(S63~H14)

本県出身の南米移住者子弟の留学生を受入れ、大学等での学習及び生活を支援するとともに、県内外での研修等を実施した。(昭和63~平成14年度)

(対象国) ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、ペルー
(留学期間) 2年以内



受入人数(年度別)

国籍	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
ブラジル	3	2	3	2	2	3	3	1	3	3	1		1	1	1	新規(1年目)
	2	3	2	1	2	2	2	3		1	3	1		1		継続(2年目)
パラグアイ				1												新規(1年目)
	1				1											継続(2年目)
ペルー		1			1			1								新規(1年目)
			1			1			1							継続(2年目)
計	6	6	6	4	6	6	5	5	4	4	4	1	1	2	1	

【昭和62~63年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
館野 ルイザ 明美	女	ブラジル	日本語教育	宇都宮大学教育学部
大泉 ネリ 二姿美	女	ブラジル	日本語教育	宇都宮大学教育学部
正岡 初美	女	パラグアイ	洋裁、デザイン	宇都宮文化服装専門学校

※昭和62年度は栃木県海外協会が実施

【昭和63~平成元年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
田野辺 司	女	ブラジル	食品分析	宇都宮大学教育学部
青山 レイラ 雅枝	女	ブラジル	体操指導	宇都宮大学教育学部
峰下 ジャネッチ 洋子	女	ブラジル	歯科一般	自治医科大学歯科口腔外科、 東京医科大学歯科大学歯学部

【平成元年~2年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
越雲 エリーザ 文枝	女	ブラジル	教育指導法	宇都宮大学教育学部
長沢 シンチア 由美	女	ブラジル	経営学	白鷗大学経営学部
笹川 マリア	女	ペルー	食品分析	宇都宮大学教育学部

【平成2年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
赤羽 ネルソン 稔	男	ブラジル	植物栽培学、園芸学	宇都宮大学農学部
柳田 ニュートン 新一	男	ブラジル	経営学	作新学院大学経営学部

【平成2~3年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
大久保 ローザ 静香	女	ブラジル	エックス線、CTスキャン、 磁気共鳴画像	自治医科大学放射線医学科

【平成3~4年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
渡部 マリレナ とし子	女	ブラジル	経営学	作新学院大学経営学部、 白鷗大学経営学部
横田 恵美 クリスチナ	女	ブラジル	歯科学	自治医科大学口腔外科
松宮 マリア エレナ	女	パラグアイ	ビジネス情報処理	白鷗大学経営学部

Topics

◆南米日系人子弟留学生受入（昭和63年度）

栃木県出身の南米移住者子弟を支援するため、留学生として受け入れる事業を始めた。

◆南米移住者子弟短期研修生受入（平成2年度）

栃木県出身の南米移住者の高校生子弟に栃木県を理解してもらうため、研修生として受け入れる事業を始めた。

【平成4～5年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
福田 よしえ オデッチ	女	ブラジル	歯科学	獨協医科大学口腔外科
原田 エミリア フェルナンデス	女	ブラジル	経営学	作新学院大学経営学部
池田 マリア クリスティナ	女	ペルー	口腔医学	自治医科大学口腔外科

【平成5年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
寺林 美奈	女	ブラジル	口腔外科	自治医科大学口腔外科

【平成5～6年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
久保田 えりか	女	ブラジル	生産工学	足利工業大学経営工学科
武藤 みどり	女	ブラジル	経営学	白鷗大学経営学部

【平成6～7年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
西山 エリーザ 恵子	女	ブラジル	情報工学	宇都宮大学工学研究科
大高 淳子 リナ	女	ブラジル	情報工学	宇都宮大学工学研究科
室井 三枝子 イザベル	女	ブラジル	心臓病	獨協医科大学第一内科

【平成7年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
西山 ソニア	女	ブラジル	歯科学	自治医科大学口腔外科

【平成7～8年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
池田 緑 ルシア	女	ペルー	経営学	白鷗大学経営学部

【平成8年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
池田 カルラ クリスチーナ	女	ブラジル	国際法	白鷗大学法学部
鶴崎 ソフィア 道香	女	ブラジル	歯科技工学	栃木県衛生福祉大学校

【平成8～9年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
中見川 めぐみ	女	ブラジル	情報工学	宇都宮大学工学部

【平成9～10年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
西山 マルガレッタ 小百合	女	ブラジル	国際法	白鷗大学法学部
藤本 ファチマ 重美	女	ブラジル	日本語教育	宇都宮大学国際学部
菅谷 リリアン 南美江	女	ブラジル	応用生物学	宇都宮大学農学部

【平成10～11年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
豊田 ナイル 昌子	女	ブラジル	動物繁殖学	宇都宮大学農学部

【平成12～13年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
佐々木 優子 ケリー	女	ブラジル	保健体育	宇都宮大学教育学部

【平成13年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
丸山 フラヴィオ 実	男	ブラジル	エネルギー工学	宇都宮大学工学部

【平成14年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	留学機関
青柳 マルセーロ 建二	男	ブラジル	国際文化比較	宇都宮大学国際学部

- 海外農業移住者援護資金利子補給 ● 在外県人会助成 ● 高齢移住者母県招待
- 南米移住者子弟短期研修生受入 ● 在伯栃木県人会女性訪問団受入

海外農業移住者 援護資金利子補給 (S63~H7)

海外農業移住者援護資金を借り受けた者に対し、利子補給を行った。(昭和63~平成7年度)



在外県人会助成 (S63~)

在外栃木県人会に対し、運営費の助成や支援等を行った。(昭和63年度~)

在伯栃木県人会	1958年7月設立
アマゾン栃木県人会	1967年4月設立
在アルゼンチン栃木県人会	1967年4月設立
在パラグアイ栃木県人会	1978年4月設立
ペルー栃木県人会	1982年1月設立
南加栃木県人会(ロサンゼルス栃木県人会)	1992年3月設立

高齢移住者 母県招待 (S63~H3)

ブラジルに移住した高齢者を本県に招待し、墓参、親族訪問、県内視察等を通して、高齢移住者を励ました。(昭和63~平成3年度)

年 度	63	元	2	3
受入人数	2	1	1	4



南米移住者子弟 短期研修生受入 (H2~)

南米移住者の子弟(平成7年度まではブラジルのみ)を受入れ、日本の文化等についての視察、研修を行うとともに、本県高校生との交流等を実施した。(平成2年度~)
(研修期間) 1~2月にかけて、約3週間程度



受入人数(年度別)

国 籍	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
ブラジル	10①	10①	10①	10①		5①	3①	3	3	4①	3	4①	2	2	3①	4①	3①	1
アルゼンチン													1①					1
パラグアイ							1	1①	1	1	1		1①		1			
ペルー							1	1	1①		1①	1	1	1				1①
計	10①	10①	10①	10①		5①	5①	5①	5①	5①	5①	5①	4①	4①	4①	4①	3①	3①

①は引率者(1人)

在伯栃木県人会 女性訪問団受入 (H6)

中・高校生の子を持つ県人会の女性を受入れ、本県の教育事情等についての視察、研修を行うとともに、本県の中堅世代との交流事業等を実施した。(平成6年度)

(期 間) 4月4日~23日(20日間)
(受入者) 12人



国際協力 推進事業

●海外技術研修員受入

海外技術 研修員受入

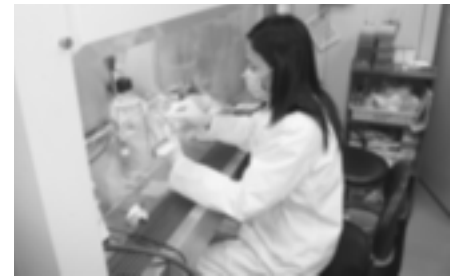
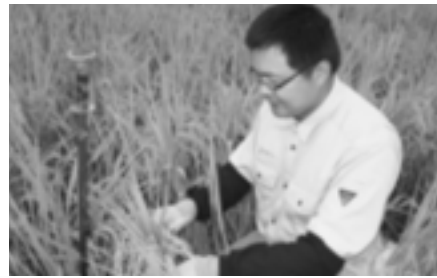
(S63～)

開発途上国及び栃木県の友好交流先である中国浙江省から、技術研修員を受入れ、研修機関での技術研修、生活支援及び県内外での研修等を実施した。(昭和63年度～)

(研修期間) 6月～3月(昭和63～平成15年度)

8月～3月(平成16年度)

9月～3月(平成17年度～)



受入人数(年度別)

地域	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
アジア	7	5	5	7	6	8	7	6	6	8	5	6	5	5	6	5	4	4	4	4
大洋州					1															
アフリカ	1	2	2	2	3	1	1	2	2	2	1	1	2	1	1	1				
北アメリカ		1	1		1			3	1		1	1	2					1		
南アメリカ	3	6	6	6	5	5	4	3	4	3	4	2	2	3	2	2	2	2	2	1
計	11	14	14	15	15	16	12	13	13	13	12	10	10	10	9	8	7	7	6	5

【昭和63年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
朱 振林	男	中国	苺等栽培技術	栃木県農業試験場栃木分場
金 水仙	女	中国	家畜飼育、肥料配合	栃木県畜産試験場
戚 行江	男	中国	果樹栽培、貯蔵技術	栃木県農業大学校
カルロス ルディ バラダ ソレト	男	ボリビア	X線撮影	栃木県立がんセンター
デレジュ ブルック ガブレメドウハン	男	エチオピア	農業作物	栃木県農業試験場
プラシット インチャン	男	タイ	印刷技術	朝陽堂印刷興業(株)
ロズリン バロイ	女	バングラデシュ	看護学	獨協医科大学附属病院
カトイガラダ マドゥランガニ ベレラ	女	スリランカ	幼稚園教育	アルス幼稚園
篠崎 ジョルジ	男	ブラジル	コンピューター	栃木県工業技術センター
鶴崎 カロリーナ 澄香	女	ブラジル	美容技術	オカベ美容室
カリーナ カーロス ボンゾン	女	フィリピン	テクスタイルデザイン	栃木県繊維工業試験場

【平成元年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
高橋 ナンシー 葉子	女	ブラジル	工業デザイン	(株)松井ピ・テ・オ・印刷
篠田 リカルド	男	ブラジル	電子技術	栃木県工業技術センター
菊地 武善	男	ブラジル	畜産	栃木県酪農試験場
早瀬 桂樹	男	ブラジル	農業機械	栃木県農業大学校
江連 紀文	男	パラグアイ (アルゼンチン産)	醸造	栃木県食品工業指導所
カンパン プーンディ	男	タイ	電子機器	小島電機(株)上三川店
クリスタベル サーワ ダーキ	女	ガーナ	看護学	獨協医科大学附属病院
クラウディオ クレメンテ ママニ チョク	男	ボリビア	工作機械	栃木県今市高等産業技術学校
レオナルド ウィリアム ベンダラ	男	タンザニア	自動車整備	栃木ゼーゼル(株)
モアスト エディルベルト エラソ バルダレス	男	ホンジュラス	電子機器	栃木県宇都宮高等産業技術学校
商 克紹	男	中国	種鶏・種豚育種防疫	栃木県畜産試験場
方 建平	男	中国	果樹育種栽培	栃木県農業試験場
曹 欣	男	中国	大麦育種、組織培養	栃木県農業試験場栃木分場
汪 如亭	男	中国	日本語、日本史、日本文学	栃木県立宇都宮北高等学校

● 海外技術研修員受入

【平成2年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
エドガル メンデス タテイシ	男	ボリビア	臨床検査	栃木県立がんセンター
ガブリエラ バジェホス ルイス	女	パラグアイ	栄養改善指導方法	栃木県宇都宮保健所
土屋 剛一 エンリー	男	ブラジル	電子機器(カラーテレビ・ビデオ)修理技術	栃木県宇都宮高等産業技術学校、小島電機(株)上三川店
フランシス テテ サバ	男	ガーナ	自動車整備技術	栃木県氏家高等産業技術学校、栃木トヨタ自動車(株)
吉田 高男 ネルソン	男	ブラジル	花卉栽培技術	栃木県農業試験場
室井 健二 ジョージ	男	ブラジル	肉用牛の飼養管理技術	栃木県畜産試験場
峰下 興司 ロベルト	男	ブラジル	落葉果樹栽培技術	栃木県農業試験場、佐野市農業協同組合
徐 剛	男	中国	植物組織、培養技術	栃木県農業試験場
ジョージ カマウ キバキ	男	ケニア	農業機械	栃木県農業大学校
兪 建軍	男	中国	きのか栽培育種	栃木県林業センター
虞 洪波	男	中国	林業技術	栃木県林業センター
関口 清水 ジョージ	男	メキシコ	企業会計、コンピューターシステム	(株)TKC
プルアン セーンパラジャン	女	タイ	コンピューター技術	栃木県教育研修センター、栃木県企画部情報管理課
張 冰	女	中国	日本文学、日本風俗、日本語	栃木県立宇都宮北高等学校

【平成3年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ロサン クマール アマーテ	男	ネパール	金属加工技術	栃木県工業技術センター、栃木県宇都宮高等産業技術学校
アブダラ ムイタ ハジ	男	タンザニア	自動車整備	栃木県氏家高等産業技術学校
オマリ イディ ムシャーナ	男	タンザニア	陶磁器	(株)つかもと、栃木県窯業指導所
アランカーラ スリヤニ グナラットナ	女	スリランカ	婦人子供服	宇都宮文化服装専門学校、(株)パワ科学生産システム宇都宮工場
ペドロ レネ サンタンデル	男	パラグアイ	家畜飼育	栃木県畜産試験場
ガンガ ラム ブラダン	男	ネパール	水産土木	栃木県水産試験場、宇都宮測量(株)
中内 カズエ	女	ブラジル	臨床検査	獨協医科大学附属病院
大類 サンドラ 真知子	女	ブラジル	PR	(株)松井ピ・テ・オ・印刷
沢口 千晴 ナンシー	女	ブラジル	コンピューター	栃木県企画部情報管理課
大根田 孝	男	ブラジル	弱電機	栃木県宇都宮高等産業技術学校
菊地 広善 ワルテール	男	ブラジル	電気修理	小島電機(株)
楊 焯峰	男	中国	大麦栽培	栃木県農業試験場栃木分場
旁 利忠	男	中国	家電測定	松下電器産業(株)テレビ事業部宇都宮工場
童 振華	男	中国	精神医療	栃木県立岡本病院、獨協医科大学附属病院
陳 丹	女	中国	日本語	栃木県立宇都宮北高等学校

【平成4年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ドナルド カルカモ	男	ホンジュラス	教育(算数教育)	栃木県総合教育センター
ローレンス オディアンボ アヨオ	男	ケニア	自動車整備	栃木県氏家高等産業技術学校
ユーロビオ バクスア オデロン JR.	男	フィリピン	電気修理	(株)コジマ
ボナベンチュウラー アマニ	男	タンザニア	電話線路	日本電信電話(株)宇都宮支店
ロンラット ジャルーンサップ	女	タイ	陶磁器	栃木県窯業指導所
ビー エイ ウィリー	男	西サモア	自動車整備	栃木ジーゼル(株)、栃木トヨタ自動車(株)
館野 アルベルト	男	ブラジル	花卉栽培	栃木県農業試験場、菱沼園芸
吉田 ロザーナ 敦子	女	ブラジル	デザイン	宇都宮デザイン電子専門学校、(有)アトリエ・テン
池田 マルガレッテ	女	ブラジル	広告、宣伝	(株)松井ピ・テ・オ・印刷
土屋 瑞美 ルシアーナ	女	ブラジル	整髪、美容技術	(有)ヒロ美容室
神立 守之 アルネスト	男	ブラジル	家畜飼育	栃木県畜産試験場
兪 頌東	男	中国	家畜人工授精	栃木県酪農試験場
翁 景清	男	中国	防疫技術	栃木県衛生研究所
姜 海軍	男	中国	土地改良	栃木県農務部土地改良課
劉 魯群	男	中国	日本語、日本文化	栃木県立宇都宮北高等学校、栃木県立博物館

Topics

◆海外技術研修員受入（昭和63年度）

開発途上国が必要とする技術や知識を習得させるため、技術研修員として受け入れる事業を始めた。

【平成5年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
アサファ アレマエフ ジェメダ	男	エチオピア	下水道	栃木県下水道管理事務所
エルナタン キプリモ チュマ	男	ケニア	道路設計	栃木県宇都宮土木事務所
アリス バトリカ バスナヤケ	女	マレーシア	養護（障害児教育）	栃木県身体障害医療福祉センター
ガヤ ナンダ サルマ	男	ネパール	視聴覚教育	栃木県総合教育センター
リラ プラサッド バンゲニ	男	ネパール	野菜栽培	栃木県農業試験場
ラロ マウロ ラウラ ヤナ	男	ボリビア	柔道	作新学院高等部
ゴータ デイメトリウス ゴータ	男	タンザニア	家畜飼育	栃木県酪農試験場
中尾 義春 トマス	男	ブラジル	鉄道車両	富士重工業（株）宇都宮車両工場
田口 妙子 レチシア	女	ブラジル	小児医療	獨協医科大学附属病院
牛沢 達八 マルセロ	男	ブラジル	製品管理	松下電器産業（株）テレビ事業部宇都宮工場
佐々木 孝治 エルシオ	男	ブラジル	コンピューター	栃木県企画部情報管理課
宋 吉華	男	中国	鍍金処理	加治金属工業（株）
施 永勝	男	中国	コンピューター	（株）松井ピ・テ・オ・印刷
何 志華	男	中国	森林保護	栃木県林業センター
何 中輝	男	中国	土地改良	栃木県農務部土地改良課
董 福平	男	中国	河川管理	栃木県土木部河川課

【平成6年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ブンラップ ルアンラース	男	ラオス	診療放射線	栃木県立がんセンター
ハリー バカタ グレン	男	ネパール	土木設計	栃木県土木部河川課
クリシュナ プラサード ドゥワール	男	ネパール	自動車整備	関東自動車整備（株）
マルセロ サンチャゴ レクト	男	フィリピン	電子機器	栃木県宇都宮高等産業技術学校、（株）コジマ
ドミニク オウアー オドゥンド	男	ケニア	自動車整備	（有）吉田自動車整備工場
ファビアーノ セスペデス	男	パラグアイ	飼料作物	栃木県酪農試験場
溝江 リサ 静	女	ブラジル	建築設計	（株）熊倉敬次建築設計事務所、（株）フケタ設計
岡田 サンドラ かおり	女	ブラジル	流通管理	（株）エーリスウエノ
高橋 ヴィトル 健治	男	ブラジル	口腔外科	自治医科大学
張 文戈	男	中国	工作機械、経営管理	キャノン（株）宇都宮工場
莫 林方	男	中国	米作	栃木県農業試験場
芮 孟安	男	中国	養蚕	栃木県蚕業センター

【平成7年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ロベルト エライン デル バルコ エスコバル	男	ボリビア	理科教育	栃木県総合教育センター
ジオバニー エルナンデス ヒメネス	男	コスタリカ	電子機器	栃木県宇都宮高等産業技術学校、（株）コジマ
マヤ シャー	女	ネパール	織物	栃木県繊維工業試験場
タントリー プロボララス	女	インドネシア	家畜疾病診断	栃木県家畜衛生研究所
イバ エドゥアルド アレハンドロ ビネダ バジャレス	男	ホンジュラス	電話交換機	日本電信電話（株）栃木支店
パトリック チャーマ	男	ザンビア	自動車整備	（有）吉田自動車整備工場
永田 エリアス 宣	男	ブラジル	電気設備設計	（株）関電工栃木支店
関口 清水 アレハンドロ	男	メキシコ	銀行業務	（株）足利銀行
笹川 静	女	ペルー	食品加工	栃木県食品工業指導所
潘 亜梁	男	中国	腫瘍外科	栃木県立がんセンター
包 煥盛	男	中国	養蚕	栃木県蚕業センター
華 偉南	男	中国	河川管理、河川工事	栃木県土木部河川課
倪 憲漢	男	中国	水資源管理、水道給水企画	栃木県企業庁鬼怒水道事務所、栃木県企画部資源対策課

● 海外技術研修員受入

【平成8年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
カルマ ツェリン	男	ブータン	臨床検査	(財) 栃木県保健衛生事業団
リディア エレーナ ゴイリ ハラ	女	パラグアイ	心理判定(教育分野)	栃木県中央児童相談所
アチュッタ クマール ドゥンゲル	男	ネパール	家畜飼育	栃木県畜産試験場
ベンジャミン キピエゴ	男	ケニア	自動車整備	(有) 吉田自動車整備工場
レスフォード アーサー パーシー カンジャラ	男	マラウイ	獣医学	栃木県西那須野家畜保健衛生所
ファン アントニオ ベンコスメ ロドリゲス	男	ドミニカ共和国	植林	栃木県林業センター
久保田 クリスチーナ さおり	女	ブラジル	ビジュアルコミュニケーションデザイン	(株) 松井ピ・テ・オ・印刷
柴田 レネー	男	ブラジル	貿易業務	レオン自動機(株)
室井 和子	女	ブラジル	口腔外科	獨協医科大学附属病院
張 福健	男	中国	環境管理	栃木県生活環境部環境管理課
陳 魯軍	男	中国	蔬菜栽培学	栃木県農業試験場
黄 春華	男	中国	食品加工	滝沢ハム(株)
謝 文	男	中国	ホテルマネージメント	(株) 陽南荘(宇都宮グランドホテル)

【平成9年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ポー グアン テック	男	マレーシア	作業療法	栃木県身体障害医療福祉センター
ハミス サレ ハミス	男	タンザニア	自動車整備	(有) 吉田自動車整備工場
サンデル ベラスケス ロドリゲス	男	ボリビア	自動車整備	日産自動車整備専門学校
ハズリ ズラ	女	モロッコ	婦人子供服	(株) シンガー日鋼、(株) マルサ
スイロブディー トンシーチャン	男	タイ	農業協同組合	小山市農業協同組合
スフィア ベゴム	女	バングラデシュ	電子機器	(株) コジマ
ヴィラベッド シーサノン	女	ラオス	手術室看護	済生会宇都宮病院
竹田 テニソン 武夫	男	ブラジル	映像技術	(株) 松井ピ・テ・オ・印刷
飯塚 ファビオ 清	男	ブラジル	経営管理	(株) コスモス(イタリアントマト)
龔 方威	男	中国	小児科	自治医科大学附属病院
徐 雲濤	男	中国	道路行政	栃木県土木部道路建設課
葛 永明	男	中国	農業政策	栃木県農務部農政課
鄭 華章	男	中国	野菜栽培	栃木県農業試験場

【平成10年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
アマドゥ バイ シイ	男	セネガル	自動車整備	(有) 吉田自動車整備工場
オスカル ロランド マルティネス モラレス	男	ホンジュラス	無線通信機	日本電信電話(株) 栃木支店
ルビー カバジェロ カラスコ	女	ボリビア	農産物加工	栃木県食品工業指導所
アンドアラム アパテ ツァガエ	男	エチオピア	陶磁器	栃木県窯業指導所
アイリーン ティオン	女	マレーシア	養護	栃木県身体障害医療福祉センター、栃木県立富屋養護学校
牛沢 セリア 江美	女	ブラジル	デザイン	(株) 松井ピ・テ・オ・印刷
大類 フェルナンダ シュムキ	女	ブラジル	栄養学	獨協医科大学病院
古川 グスターボ アンドレス	男	アルゼンチン	花卉栽培	栃木県農業試験場
蔣 桂華	男	中国	果樹(イチゴ)	栃木県農業試験場栃木分場
傅 見和	男	中国	野菜栽培	栃木県農業試験場
鄒 生力	男	中国	畜産	栃木県畜産試験場
閻 彤野	男	中国	建築	栃木県土木部建築課

【平成11年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
バパッソーン サイコシー	女	ラオス	臨床検査	栃木県立がんセンター
ウィルフレッド ガマ	男	ザンビア	自動車整備	(有) 吉田自動車整備工場
アナ マリア レビア マサリエゴス ベレス	女	グアテマラ	産婦人科	自治医科大学附属病院
サンタ クマール シュレスタ	男	ネパール	養殖	栃木県水産試験場
永田 ジョゼ 建也	男	ブラジル	水処理	栃木県下水道管理事務所
三木 イルカ 長沢	女	ブラジル	口腔外科	自治医科大学附属病院
韓 焯	男	中国	ホテル管理	(株) 陽南荘(宇都宮グランドホテル)
許 虹	女	中国	看護	済生会宇都宮病院
周 芳	女	中国	教育管理	栃木県総合教育センター
施 澤彬	男	中国	果樹	栃木県農業試験場

【平成12年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ガブリエル ヘラルド ロドリゲス ミランダ	男	コスタリカ	土壌肥料	栃木県農業試験場
ケテイヨス ソンサガア	男	タイ	農業協同組合	はが野農業協同組合、芳賀農業振興事務所、栃木県農務部農政課、 栃木県農業協同組合中央会、栃木県経済農業協同組合連合会
エルミス ラファエル スニガ デルシド	男	ホンジュラス	自動車整備	日産自動車整備専門学校、(有)吉田自動車整備工場
マボラ ムング チュングエ	男	ザンビア	数学教育(及び課外活動)	栃木県立宇都宮北高等学校
峰下 エリーナ 寛子	女	ブラジル	食品加工	青源味噌(株)、栃木県食品工業指導所
依田 エリカ アユミ	女	ブラジル	デザイン	グラフィックマン
袁 位高	男	中国	森林管理	栃木県林業センター
徐 璋	女	中国	花卉栽培	栃木県農業試験場
周 永学	男	中国	獣医学	栃木県畜産試験場、栃木県県央家畜保健衛生所
許 瑛	女	中国	看護管理、救急技術	済生会宇都宮病院

【平成13年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ファティマ エステル ソリア ガルバ キロガ	女	ボリビア	看護教育	栃木県県南高等看護専門学院
バンダ アシアナ	男	ザンビア	理科教育	栃木県立黒磯南高等学校
ナフィサ ハニーフ	女	パキスタン	手工芸指導(特殊教育)	栃木県立盲学校
パメラ アヨー オウマ	女	ケニア	看護	済生会宇都宮病院
川端 マルシオ 吉男	男	ブラジル	土木建築	米弥工業(株)
タチアナ ゴメス ジャルジン	女	ブラジル	ホテル業務	ブラザイン・くろかみ
俞 潔	女	中国	水質環境管理	栃木県生活環境部環境管理課、栃木県保健環境センター
張 志友	男	中国	園芸技術	栃木県農業試験場
方 躍波	男	中国	生物工学	栃木県農業試験場
盧 剛	男	中国	樹木栽培	栃木県林業センター

【平成14年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ダワードルジ ゲレルトオッド	女	モンゴル	幼児教育	学校法人真照寺学園国谷幼稚園
キンレイ オム	女	ブータン	きのこ栽培	栃木県林業センター
ゲトルド マンディラ ヒムカンバ	女	ザンビア	理科教師	栃木県立栃木南高等学校
坂本 エリカ	女	ブラジル	ホテル業務	(株)陽南荘(宇都宮グランドホテル)
小林 マリオ	男	アルゼンチン	食品加工(醤油醸造)	栃木県食品工業指導所、(株)高橋弥次右衛門商店
周 吉忠	男	中国	園芸技術	栃木県農業試験場
翁 錫良	男	中国	畜産獣医技術	栃木県畜産試験場、栃木県県央家畜保健衛生所
陳 国強	男	中国	臨床検査	(財)栃木県保健衛生事業団
王 衛東	男	中国	学芸員	栃木県立博物館

【平成15年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ソブド オユントヤー	女	モンゴル	幼児保育	社会福祉法人幸倫会陽西保育園
モハメッド シヤハダット ホセイ チョウドリ-	男	バングラデシュ	小学校教育	栃木県総合教育センター、宇都宮市立城山東小学校
ベンソン バンダ	男	ザンビア	理科教育	栃木県立宇都宮清陵高等学校
井上 サンドラ 千恵子	女	ブラジル	ホテル業務	(株)陽南荘(宇都宮グランドホテル)
佐藤 幅上 リリアナ エリカ	女	ペルー	建築デザイン	(株)ドクターリフォーム・サンセイ、(株)新建築総合企画
潘 華舫	女	中国	リハビリテーション	とちぎリハビリテーションセンター
張 一品	男	中国	農業環境技術	栃木県農業試験場
方 憶	女	中国	学芸員	栃木県埋蔵文化財センター

- 海外技術研修員受入 ●青年海外協力隊活動促進 ●中学生のための国際理解セミナー
●とちぎ国際協力セミナー ●ピース・トーク・マラソン 2003-2007 in 栃木 ●とちぎ・モンゴル文庫設置

【平成16年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
サルチャー マンダルフ	女	モンゴル	幼児教育	学校法人宇都宮海星学園マリア幼稚園
横田 ヘンリッケ 浩	男	ブラジル	電気工学	東京電力(株)栃木支店
沢里 デニス 誠	男	ブラジル	体育	栃木県立小山南高等学校、(財)栃木県保健衛生事業団(とちぎ健康づくりセンター)
莫 文	女	中国	リハビリテーション	とちぎリハビリテーションセンター、栃木県立のぞみ養護学校、栃木県総合教育センター
韓 立	男	中国	環境政策	栃木県生活環境部環境政策課
毛 雪琴	女	中国	農業環境技術	栃木県農業試験場
コマ エドワード アブラム ムンバ	男	ザンビア	理科教育	栃木県立矢板東高等学校

【平成17年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ティッパボン ポーティチャイ	女	ラオス	助産	自治医科大学附属病院
ライ マノロ ペグエロ	男	ドミニカ共和国	職業訓練	栃木県立県央高等産業技術学校(栃木県産業技術大学校)
沖山 カミラ 真由美	女	ブラジル	看護	済生会宇都宮病院
斉藤 ルシアナ 真理	女	ブラジル	会計・経理学	渡辺敏一税理士事務所
沈 麗紅	女	中国	観光交流	(株)ジェイティービー宇都宮支店
丁 能飛	男	中国	農業環境技術	栃木県農業試験場
沈 国存	男	中国	林業	栃木県林業センター

【平成18年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ハイメ ドメニコ ロベス フローレス	男	ボリビア	地域医療	自治医科大学
キム サンナン	男	カンボジア	遺跡保護	栃木県埋蔵文化財センター
砂田 タイス 留美	女	ブラジル	口腔外科	自治医科大学附属病院
阮 美穎	女	中国	野菜栽培・育種	栃木県農業試験場
顧 幼静	女	中国	博物館学	栃木県立博物館
郭 琴	女	中国	観光交流	(株)JTB 関東宇都宮支店

【平成19年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
大貫 ミシェーリ	女	ブラジル	セキュリティ	北関東総合警備保障(株)
セン ブンナリー	女	カンボジア	家畜衛生	栃木県県央家畜保健衛生所
劉 瑜	女	中国	環境管理と企画	栃木県環境森林部環境保全課
魏 海龍	男	中国	林業	栃木県林業センター
鄭 偉年	男	中国	農業	栃木県農業試験場

青年海外協力隊
活動促進
(S63~H16)

国際協力事業団(JICA)が実施する青年海外協力隊員等のJICAボランティアの募集・啓発活動及び帰国隊員の指導助成を行った。(昭和63~平成16年度)

※国際協力事業団は平成15年10月から国際協力機構の名称



Topics

- ◆ピース・トーク・マラソン2003-2007 in 栃木 (平成18年度)
県民に平和と国際協力を考えてもらうため、シンポジウムを開催した。
- ◆とちぎ・モンゴル文庫設置 (平成18年度)
モンゴルに日本に親しむ文庫を設置するため、県民から寄贈された図書等を送付した。

中学生のための 国際理解セミナー

(H15、16)

県内の中学生がゲーム等を通して、国際協力や青年海外協力隊事業などへの理解を深めるセミナーを開催した。
(平成15、16年度)

平成15年度

「海外キラリ体験2DAYS」

(開催日) 8月21日(木)・22日(金) (1泊2日)
(場 所) JICA二本松(福島県)、
アジア学院(西那須野町)
(参加者) 26人(うち中学生17人)

平成16年度

「海外キラリ体験4DAYS」

(開催日) 9月25日(土)、
10月2日(土)・3日(日) (1泊2日)、
10月16日(土) (全3回)
(場 所) とちぎ国際交流センター(宇都宮市)、
アジア学院(西那須野町)、
なす高原自然の家(那須町)
(参加者) 15人(うち中学生8人)



とちぎ国際協力 セミナー

(H17、18)

県民の国際理解の促進や国際協力への参加促進を図るセミナーを開催した。(平成17、18年度)

(場 所) とちぎ青少年センター(宇都宮市)
(共催者) 栃木県、国際協力機構(JICA)



年度	開催日	内 容	参加者数
17	2月19日(日) 13:30~16:30	JICAボランティアや県内国際協力団体の活動報告、記念講演、交流会など	130人
18	2月10日(土) 13:00~16:00	JICAボランティアや県内国際交流団体の活動報告、記念講演、音楽会など	130人

ピース・トーク・マラソン 2003-2007 in 栃木

(H18)

「1人ひとりにできること。1人のためにできること」をテーマに、平和と国際協力に関するシンポジウムを開催した。
(平成18年度)

(開催日) 6月3日(土) 13:00~16:15
(場 所) 栃木県総合文化センター(宇都宮市)
(内 容) ピーストーク、ピースメッセージ、パネルディスカッション、国際協力団体活動紹介など
(参加者) 約300人
(共催者) 国際協力機構(JICA)、下野新聞社、
全国地方新聞社連合会



とちぎ・モンゴル 文庫設置

(H18)

モンゴルで活動中のJICAボランティア(栃木県出身)からの要請を受け、日本に親しむ図書等を県民から募集し送付した。(平成18年度)

(送付物品) 図書、伝統玩具、和服、音楽CDなど2,497点
(寄贈者) 一般県民、小・中・高等学校、国際交流団体など
(協力者) 国際協力機構(JICA)



友好 交流事業

●友好交流

友好交流

(S63～)

栃木県の友好交流先である中国・浙江省、フランス・ヴォークリューズ県及びアメリカ・インディアナ州を中心に、訪問団の派遣、受入れ等を行った。(昭和63年度～)

昭和63年度

[受入]

- 浙江省友好考察団
- 浙江省対外経済貿易庁代表団
- 浙江省市長代表団

平成元年度

[派遣]

- 栃木県海外移住者激励訪問団
在伯栃木県人会創立30周年記念式典への出席及び海外移住した本県出身者の激励のため、県内各界各層の代表者を派遣した。
(期 間) 10月25日～11月9日(16日間)
(派遣先) ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、アメリカ
(派遣者) 20人

[受入]

- 浙江省教育考察団
- 浙江省友好代表団
- 浙江省友好考察団
- 浙江省蚕糸総合考察団
- 浙江省定期協議団
- ヴォークリューズ県関係者
- ヴォークリューズ県議会議長
- ヴォークリューズ県議会副議長

平成2年度

[受入]

- ブラジル国日系人ふるさと創生事業
ブラジルと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、本県関係者を受入れた。
(期 間) 11月9日～11月15日(7日間)
(受入者) 4人
- 浙江省ラジオ・テレビ訪日団
- 浙江省技術経済調査団
- 浙江省外事弁公室趙嘉福主任一行
- ヴォークリューズ県議会副議長
- 米国青年政治指導者訪日代表団

平成3年度

[受入]

- 中国地域リーダーふるさと創生事業
中国と日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、浙江省の青年を受入れた。
(期 間) 12月5日～11日(7日間)
(受入者) 5人
- 浙江省水利調査団
- 浙江省農業技術調査団
- 浙江省衛生代表団
- 浙江省友好協議視察団
- ヴォークリューズ県議会関係者



Topics

◆メキシコ栃木国際週間訪問団（平成4年度）

メキシコで日本や栃木の文化を紹介するため、訪問団を派遣した。

◆栃木県交響楽団浙江省公演友好使節団（平成5年度）

栃木県と中国浙江省の友好提携5周年に合わせて、栃木県交響楽団を派遣した。

平成4年度

〔派遣〕

- メキシコ栃木国際週間訪問団（実施委員会）
「メキシコ栃木国際週間」において、流鏝馬、コーラス、日本舞踊、和太鼓等を披露するため、県内関係者等を派遣した。
（期 間）3月15日～24日（10日間）
（派遣先）メキシコ
（派遣者）110人

〔受入〕

- ロシア極東地域との交流を通じたふるさと創生事業
ロシアと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、ロシア極東地域の自治体関係者等を受入れた。
（期 間）9月29日～10月2日（4日間）
（受入者）3人
- 浙江省経済視察団
- 浙江省林業視察団
- 浙江省定期協議団
- 浙江省政府代表団
- 浙江省友好代表団
- ヴォークリューズ県議会関係者等

平成5年度

〔派遣〕

- 栃木県海外移住者激励訪問団
在伯栃木県人会創立35周年記念式典への出席及び海外移住した本県出身者の激励のため、県内各界各層の代表者を派遣した。
（期 間）10月20日～11月4日（16日間）
（派遣先）ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、アメリカ
（派遣者）15人
- 栃木県友好訪問団（実施委員会）
中国浙江省で開催された「浙江省友好都市交歓会」で、郷土芸能等を披露した。
（期 間）11月3日～7日（5日間）
（派遣先）中国浙江省杭州市
（派遣者）12人
- 栃木県交響楽団浙江省公演友好使節団（実行委員会）
栃木県と中国浙江省との友好協定締結5周年を記念して、栃木県交響楽団の演奏会を開催した。
（期 間）1月2日～7日（6日間）
（派遣先）中国浙江省杭州市、紹興市
（派遣者）132人

〔受入〕

- 浙江省企業友好訪問団
- 浙江省友好訪問団
- 浙江省農業技術調査団
- 浙江省政府友好訪問団
- 浙江省林業代表団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生

〔その他〕

- 栃木県・浙江省友好提携記念レセプション開催



平成6年度

〔受入〕

- インドネシアとの交流を通じたふるさとづくり事業
インドネシアと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、自治体関係者等を受入れた。
(期 間) 10月4日～7日(4日間)
(受入者) 10人
- 浙江省企業代表団
- 浙江鴻達投資環境説明組
- 浙江省対外交流友好代表団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生



平成7年度

〔派遣〕

- US-JAPAN EXPO'95 参加
米国ロサンゼルス市で開催された「ジャパンエキスポ」で伝統工芸等を披露した。
(期 間) 10月11日～19日(9日間)
(派遣先) 米国ロサンゼルス市
(派遣者) 7人



〔受入〕

- フランス民族芸能団体招へい
「第10回国民文化祭とちぎ95」に参加するフランス・ヴォークリューズ県の民族舞踊団「フルー・ドゥ・ロズ」を受入れた。
(期 間) 10月24日～11月1日(9日間)
(受入者) 16人
- 中国民族芸能団体招へい
「第10回国民文化祭とちぎ95」に参加する中国浙江省の「浙江雑技芸術団」を受入れた。
(期 間) 10月25日～11月1日(8日間)
(受入者) 15人
- 浙江省林業訪問視察団
- 浙江省政府代表団
- 浙江省国際交流担当者訪問団
- 浙江省農業科学院訪日代表団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生
- ヴォークリューズ県議会



平成8年度

〔受入〕

- ミャンマーとの交流を通じたふるさとづくり事業
ミャンマーと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、民間人等を受入れた。
(期 間) 9月10日～13日(4日間)
(受入者) 9人



Topics

- ◆**栃木浙江友好会館「杜鵑楼」竣工記念県民訪中団（平成9年度）**
栃木浙江友好会館の竣工式典に合わせて、県民訪中団を派遣した。
- ◆**米国インディアナ州訪問産業交流調査団（平成11年度）**
栃木県と米国インディアナ州との姉妹提携に合わせて、産業交流調査団を派遣した。

- ブラジル日系人との交流を通じたふるさとづくり事業
ブラジルと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、青年リーダーを受入れた。
(期 間) 11月27日～12月3日(7日間)
(受入者) 9人
- 浙江省教育訪日団
- 浙江省定期協議団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生



平成9年度

〔派遣〕

- 栃木浙江友好会館「杜鵑楼」竣工記念県民訪中団**
(実施委員会)
栃木県と中国浙江省との交流拠点として建設された
栃木浙江友好会館の竣工式典に県民を派遣した。
(期 間) 11月25日～30日(6日間)
(派遣先) 中国浙江省杭州市他
(派遣者) 90人



〔受入〕

- 浙江省林業考察団
- 浙江省公務員考察団
- 浙江省定期協議団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生

平成10年度

〔受入〕

- ブラジルとの国際交流を通じたふるさとづくり事業
ブラジルと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、日系人青年リーダー(地域リーダー)を受入れた。
(期 間) 10月23日～28日(6日間)
(受入者) 2人
- 浙江省供銷考察団
- 浙江省農業科学院訪日代表団
- 浙江省林業考察団
- 浙江省高校生友好交流団
- ヴォークリューズ県大学生
- ヴォークリューズ県議会代表団



〔その他〕

- 栃木浙江友好絵画交流
- プロヴァンスの魅力紹介

平成11年度

〔派遣〕

- 米国インディアナ州訪問産業交流調査団**
(実行委員会)
米国インディアナ州に経済・農業団体関係者を派遣し、関係団体との意見交換及び現地調査を行った。
(期 間) 7月14日～20日(7日間)
(派遣先) 米国インディアナ州
(派遣者) 23人



- 米国インディアナ州派遣文化工芸団（実行委員会）
米国インディアナ州に文化工芸関係者を派遣し、栃木県の文化工芸や観光等を紹介した。
（期 間）7月15日～22日（8日間）
（派遣先）米国インディアナ州
（派遣者）22人



- 栃木県民訪中団
中国浙江省で開催された「第2回浙江省友好都市交歓会（カーニバル）」に県民を派遣し、浙江省民と交流した。
（期 間）9月24日～29日（6日間）
（派遣先）中国浙江省杭州市
（派遣者）38人



〔受入〕

- ペルー・ボリビアとの国際交流を通じたふるさとづくり事業
ペルー、ボリビアと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、日系人青年リーダー（地域リーダー）を受入れた。
（期 間）10月15日～20日（6日間）
（受入者）1人
- 浙江省書画交流団
- 浙江省農業科学院訪日代表団
- 浙江省定期協議団
- 浙江省政府代表団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生



〔その他〕

- 日中青少年書画展
- インディアナ州紹介

平成12年度

〔派遣〕

- 浙江省国際青少年サマーキャンプ
中国浙江省で開催された「国際青少年サマーキャンプ」に中、高校生を派遣した。
（期 間）8月21日～26日（6日間）
（派遣先）中国浙江省
（派遣者）14人



〔受入〕

- 浙江病院医療考察団
- 浙江省高校生友好交流団
- 浙江省青少年民族音楽団
- 浙江省定期協議団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生

〔その他〕

- マロニエとちぎ緑化祭2000友好省県州紹介

Topics

◆米国インディアナ州派遣文化工芸団（平成11年度）

栃木県と米国インディアナ州との姉妹提携に合わせて、栃木県を紹介する文化工芸団を派遣した。

◆栃木県民訪中団（平成11年度）

中国浙江省で開催された友好都市交歓会に合わせて、県民訪中団を派遣した。

平成13年度

〔受入〕

- 第2回日中青少年書画展代表团
青少年書画展の優秀賞受賞者を含む代表团を受入れるとともに、入賞作品の展示を行った。
(期 間) 5月18日～22日(5日間)
(受入者) 4人

- 浙江省人民対外友好協会代表团
- 友好省泉州水産専門家招聘
- 浙江省定期協議団
- 浙江省国際交流実務考察団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生

〔その他〕

- 友好省泉州紹介
- ヴォークリューズ県ワイン紹介セミナー



平成14年度

〔派遣〕

- 日中国交正常化30周年記念「日中青年フォーラム」定期協議団

〔受入〕

- 浙江省人民政府代表团
- 浙江省高校生友好交流団
- 浙江省農業技術交流団
- 浙江省定期協議団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県議長団
- ヴォークリューズ県大学生
- パデュー大学インターン
- 北米幹部招聘事業にかかる地方交流事業

〔その他〕

- インディアナ州情報セミナー

平成15年度

〔派遣〕

- 栃木県民間交流団
(栃木県・浙江省友好提携10周年記念事業)

〔受入〕

- 浙江省人民政府代表团
(栃木県・浙江省友好提携10周年記念事業)
- 浙江省人民対外友好協会代表团
(栃木県・浙江省友好提携10周年記念事業)
- 浙江省公衆衛生管理視察団
- 浙江省定期協議団
- 浙江省人民対外友好協会代表团
- 企業研修生(ヴォークリューズ県)
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生
- インディアナ州大学生(2団)

〔その他〕

- 栃木県・浙江省友好提携10周年記念事業
- ヴォークリューズ県友好碑文作製
- インディアナ州情報セミナー

平成16年度

[受入]

- 浙江省人民政府代表团
- 浙江省人民对外友好協会代表团
- 浙江省定期協議団
- 浙江省農業技術交流団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生
- インディアナ州大学生
- インディアナ州訪問団

[その他]

- インディアナ州情報セミナー
- 浙江省の台風被災に見舞電報

平成17年度

[受入]

- 浙江省高校生友好交流団
- 浙江省定期協議団
- 浙江省林業調査団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- ヴォークリューズ県大学生
- インディアナ州大学生
- インディアナ州訪問団

[その他]

- インディアナ州情報セミナー

平成18年度

[受入]

- 浙江省書画交流友好訪問団
- 浙江省定期協議団
- 浙江省友好代表团
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- インディアナ州大学生

[その他]

- インディアナ州紹介

平成19年度

[受入]

- 浙江省定期考察団
- 浙江省代表团
- 浙江省定期協議団
- インディアナ州栃木訪問団

[派遣・受入]

- 友好交流青年相互派遣（ヴォークリューズ県）

[その他]

- ヴォークリューズ県紹介
- インディアナ州紹介

その他の 事業

● 関連団体事務 ● 日本国際連合協会栃木県本部事務 ● 在県外国人・民間交流団体基礎調査

関連団体事務

(S63~H17)

当協会の事業と密接な関係を持つ団体の事務局を預かり、効果的な事業展開を行った。

■ 栃木県海外移住家族会事務

県費留学生・海外技術研修員歓迎会、南米移住者子弟短期研修生の受入協力、財団法人栃木県国際交流協会事業への協力等を行った。(昭和63~平成17年度)

■ 栃木県青年海外協力隊OB会事務

海外技術研修員歓迎会、送別会、青年海外協力隊派遣隊員家族懇談会、帰国隊員報告会等を行った。(昭和63~平成12年度)

■ 栃木県JICA専門家連絡会事務

財団法人栃木県国際交流協会事業への協力及び会報誌の発行等を行った。(平成8~12年度)

国際理解・国際協力のための中学生作文コンテスト、高校生的主張コンクール、国連英語検定試験等を実施し、国連思想の普及に努めた。(平成2年度~)

県内の在住外国人及び民間交流団体を対象に、在県外国人の実態や行政への要望・意見等を調査し報告書を作成した。(平成12年度)

■ 在県外国人実態調査

(標本数) 1,200人(20歳以上の外国人登録者)
(調査方法) 郵送配布・郵送回収
(回収数) 291件

■ 国際交流団体調査

(標本数) 128団体
(調査方法) 郵送配布・郵送回収
(回収数) 65件



日本国際連合協会 栃木県本部事務

(H2~)

在県外国人・ 民間交流団体 基礎調査

(H12)

● JICA 栃木デスク

JICA 栃木デスク (H14～)

独立行政法人国際協力機構（JICA）の国際協力推進員を配置し、栃木県の国際協力活動の促進を図った。
(平成14年度～)



財団法人 栃木県国際交流協会 **20**周年
TOCHIGI INTERNATIONAL ASSOCIATION
1988-2008

20 年のあゆみ

平成 21 年 2 月発行

発行／財団法人 栃木県国際交流協会
〒320-0033 栃木県宇都宮市本町 9-14
とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 FAX 028-621-0951
URL <http://tia21.or.jp> E-mail tia@tia21.or.jp
印刷／株式会社 松井ビ・テ・オ・印刷

Tochigi
International
Association

20th Anniversary

